

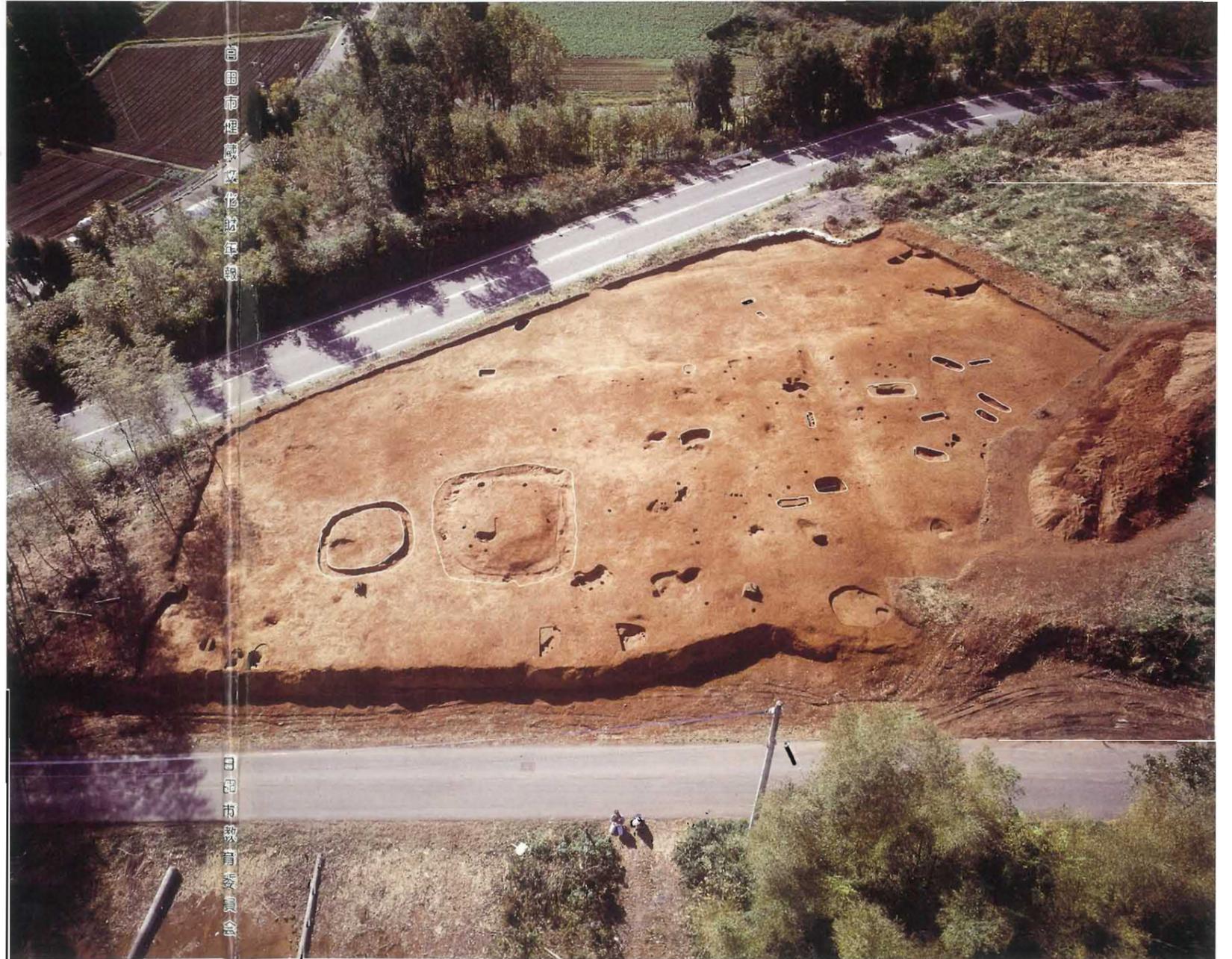
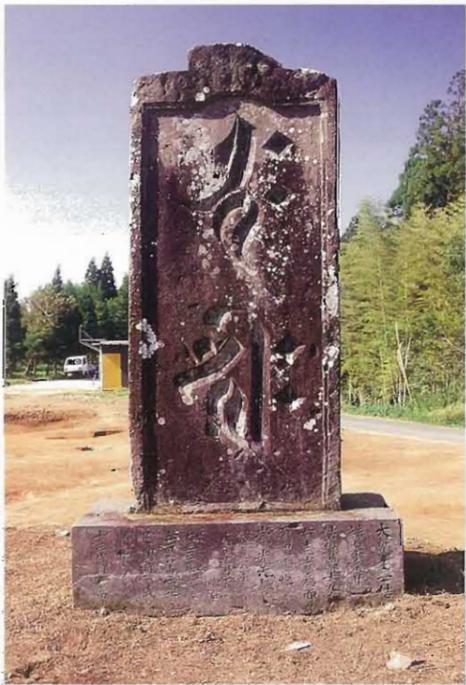
平成11年度(1999年度)

日田市埋蔵文化財年報

平成11年度

日田市埋蔵文化財年報

日田市教育委員会



発刊にあたって

平成11年度の埋蔵文化財調査は市内各所において行われ、縄文から近世までの多くの遺跡が発見されました。

なかでも、元宮遺跡3次調査区で発掘された笠塔婆は、日田市の中世を考える上で貴重な文化財であることから、市の指定を受けて後世に残されることになりました。

近年の開発事業に伴う埋蔵文化財の調査は増加の一途をたどっており、今後さらにこの傾向は続くことが予想されますが、今後も開発者に対して埋蔵文化財への理解を求めると同時に、こうして明らかになった遺跡の現地説明や体験学習、そこから出土した遺物の展示等を通して、広く教育・文化の発展に寄与したいと考えております。

最後に、この1年間日田市の埋蔵文化財の調査および普及・啓発に、多大なるご指導・ご協力を賜りました関係者の皆様方に心よりお礼を申し上げます。

平成13年3月

日田市教育委員会

教育長 後藤元晴

例 言

1. 本書は、平成11年度に日田市教育委員会が行った埋蔵文化財保護事業の概要をまとめたものである。
2. 本書には大分県教育委員会が日田市で行った埋蔵文化財保護事業の一部も合わせて掲載している。
3. 発掘調査における遺物・図面・写真類等の資料については、日田市埋蔵文化財センター等にて保管・展示している。
4. 受領図書は平成11年4月1日から平成12年3月31日の間に日田市教育委員会に寄贈された書物を掲載し、併せて日田市立博物館あての書物も掲載した。
5. 表紙の写真は元宮遺跡3次調査の空中写真、裏表紙は同遺跡発見の笠塔婆の写真を使用した。
6. 本書に掲載した図面の作図・製図は各担当者が行い、受領図書一覧表の作成では伊藤一美氏の協力を得た。
7. 本書の執筆はⅠ-1)、Ⅱを渡邊が行ったほかは、各調査担当者が行った。
8. 編集は各担当者間で協議し、渡邊が行った。

目 次

発刊にあたって

I 平成11年度埋蔵文化財調査事業	1
1) 平成11年度の埋蔵文化財調査の概要	1
2) 発掘調査・確認調査の概要	4
3) 平成11年度試掘・立会調査一覧	29
II 平成11年度の埋蔵文化財普及・啓発事業	30
1) 吹上遺跡現地説明会・体験発掘	30
2) 平成10年度速報展	31
3) 刊行物の紹介	31
III 平成11年度埋蔵文化財関係受領図書一覧	32

I 平成11年度の埋蔵文化財調査事業

1) 平成11年度の埋蔵文化財調査の概要

平成11年度発掘調査等の動向（表1）

平成11年度は公共・民間開発の事前照会件数は64件を数え、このうち前年度照会を受けたものも含め、試掘・立会調査件数は43件、また、試掘調査により発掘調査に至ったものも含めた発掘調査件数は19件にのぼった。

住宅造成や店舗建設を主とする民間開発の事前照会件数は前年比の1.16倍に増加しており、うち試掘・立会調査件数は前年比2.3倍の28件を実施した。住宅造成や店舗建設に先立つ発掘調査はこうした傾向を反映して、隈山、本村、日田条里上手地区2次、元宮2・3次、山ノ口、三和教田G地点、日田条里大原地区1・2次の計9件と前年度より増加した。

公共事業に伴う発掘調査の件数をみると、近年増加傾向にある農業基盤整備関連事業に先立ち大肥条里祝原地区・上村地区、後迫遺跡の3ヵ所それぞれを実施し、また、この他市道建設に伴い大波羅遺跡A^東・B区、市営住宅改築に伴い朝日ヶ丘遺跡をそれぞれ実施した。

また、保存整備に伴い史跡咸宜園跡の7年次、遺跡保存を目的として吹上遺跡の4年次・天満古墳の3年次の確認調査を行った。

平成11年度の発掘調査の内容（表2、第1図）

本年度も旧石器時代の調査例はなく、縄文時代遺跡の調査では、大肥条里祝原地区において縄文時代後期～晩期の集石等の遺構が検出され、大量の土器・石器が発見された。また、朝日ヶ丘遺跡では落し穴、山ノ口遺跡では包含層から晩期の土器・石器が発見された。

弥生時代遺跡の調査では、吹上遺跡において前期の袋状貯蔵穴、中期の甕棺・木棺墓、後期の環濠あるいは条溝と考えられる溝や竪穴住居跡が発見され、環濠集落の存在が確認された。後迫遺跡では中期の竪穴住居跡や甕棺、石棺墓が調査された。また、大肥条里上村地区では弥生時代中期、元宮遺跡2次では弥生時代後期の甕棺墓が発見され、大肥条里祝原地区、日田条里大原地区1・2次では中期の竪穴遺構・土坑、大波羅遺跡B区では後期の溝が確認されている。

古墳時代遺跡の調査では前年度測量調査を行った天満1号墳において前方部の石室の存在が明らかになった。また、元宮遺跡3次調査では6世紀後半の土壇墓が発見され、大波羅遺跡B区、本村遺跡では溝が調査されている。

古代遺跡の調査では大波羅遺跡B区において平安時代に位置づけられる掘立柱建物跡とそれを区画する溝が発見された。また、多数の溝や土坑が検出されており、そこから「山」銘の墨書土器と瓦が発見された。古代の墨書土器は日田市内では慈眼山瀬戸口遺跡、小迫辻原遺跡について3例目の発見であり、遺構からの瓦の出土は市内初である。このほか日田条里大原地区2次調査では竪穴遺構、土坑などが確認されている。

中世の調査では元宮遺跡3次調査において14世紀中頃の塚と梵字が掘り込まれた笠塔婆が発見された。この笠塔婆は元大原神社に移設し、市の有形文化財指定を受けることになった。また、隈山遺跡では15・16世紀の墓が多数確認され、日田条里上手地区2次調査で11～12世紀代と本村遺跡では15～16世紀代の掘立柱建物が確認された。

近世遺跡の調査では史跡咸宜園跡において、保存整備に伴う確認調査が行われたが、後世の攪乱が著しく、関連遺構をはっきり確認することはできなかった。

表1 埋蔵文化財調査推移グラフ

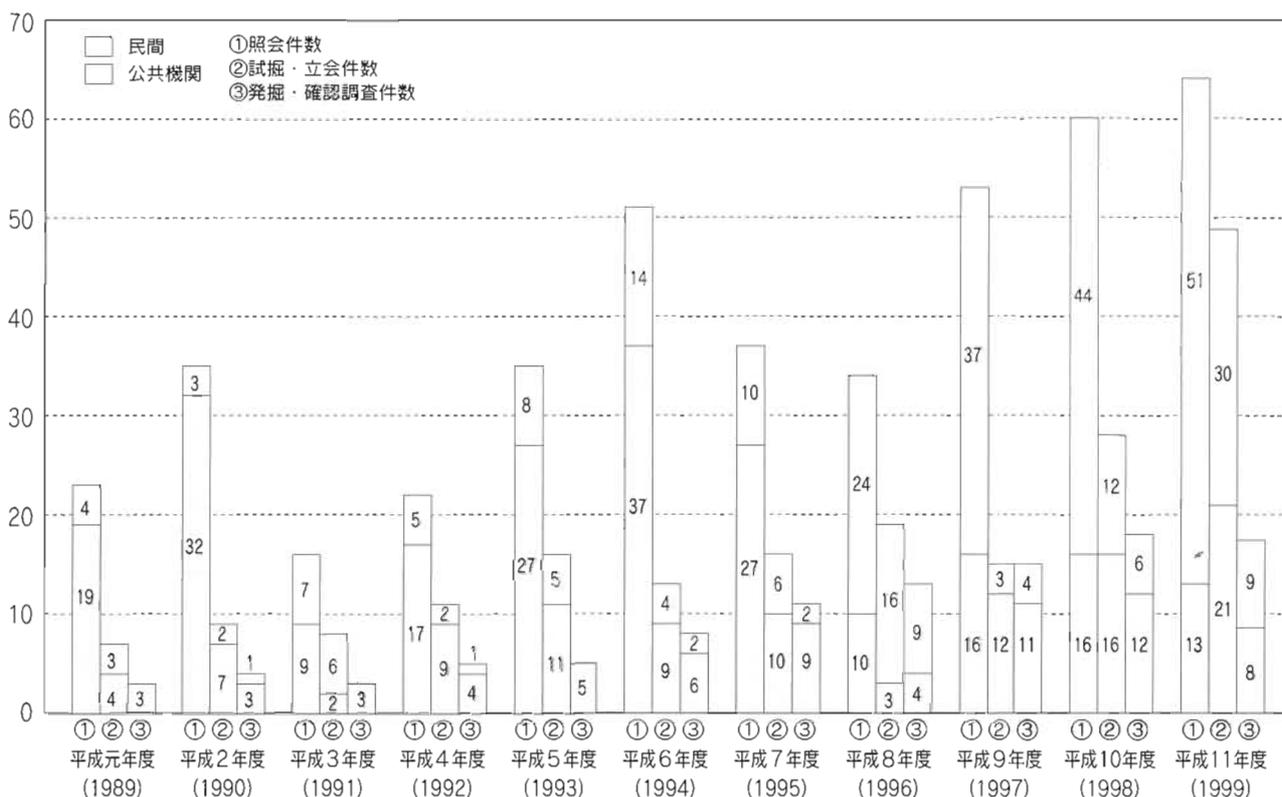


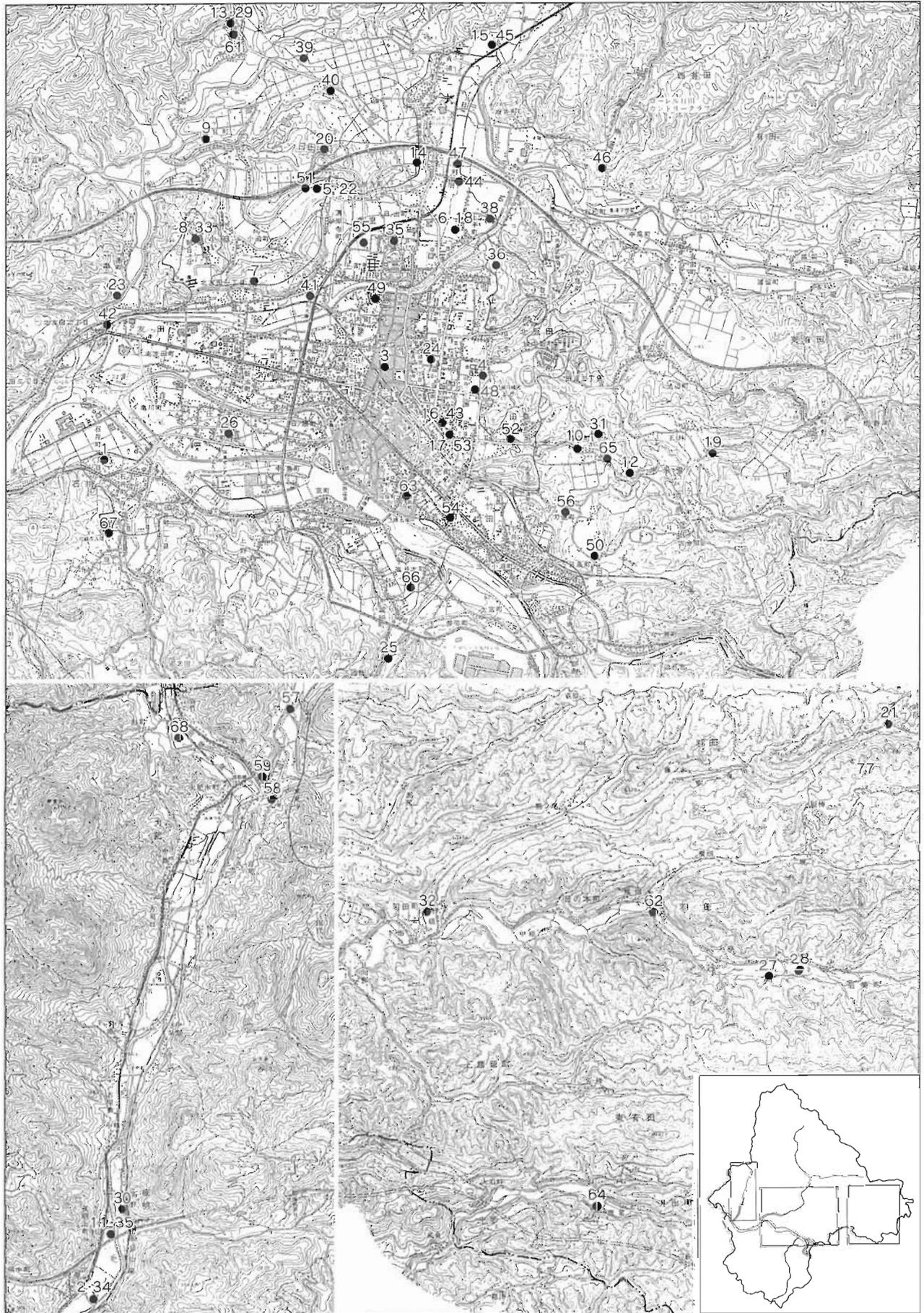
表2 平成11年度発掘・確認調査一覧表

日田市教育委員会

番号	遺 跡 名	所 在 地	調査原因	調査面積	調査年月日	備 考
1	隈山遺跡	大字石井字熊山	墓 地 造 成	200㎡	0420～0526	前年度継続
2	大肥条里祝原地区	大字夜明字道外	圃 場 整 備	7,500㎡	0517～0117	
3	史跡咸宜園跡	大字南豆田字中城	確 認 調 査	342㎡	0728～0229	
4	大波羅遺跡A・B区	大字田島字大原	市 道 建 設	A区 200㎡ B区 1,800㎡	0602～0609 1208～0331	
5	本村遺跡	大字渡里字本村	住 宅 建 設	200㎡	0615～0616	
6	日田条里上手地区2次	大字西有田字上手	宅 地 造 成	850㎡	0728～0811	
7	吹上遺跡	大字小迫字吹上原	確 認 調 査	300㎡	0726～0831	
8	朝日ヶ丘遺跡3次	大字小迫字小迫原	市営住宅建設	1,250㎡	0830～1025	
9	天満古墳群	大字小迫字天神山	確 認 調 査	80㎡	0916～0927	
10	元宮遺跡2次	大字求来里字堂園	土 砂 採 取	105㎡	0902～1001	
11	大肥条里上村地区	大字夜明字上村	圃 場 整 備	235㎡	0928～1029	
12	元宮遺跡3次	大字求来里字堂園	福祉施設建設	1,492㎡	0928～1119	
13	山ノ口遺跡	大字山田字山ノ口	資材置場建設	840㎡	1118～1215	
14	後迫遺跡	大字三和(里道)	農 道 建 設	400㎡	1206～0330	
15	三和教田遺跡G地点	大字三和字大塚	宅 地 造 成	500㎡	0111～0210	
16	日田条里大原地区1次	大字田島字柿ノ木	アパ-ト建設	300㎡	0208～0229	
17	日田条里大原地区2次	大字田島字大原	住 宅 建 設	200㎡	0208～0308	

大分県教育委員会

1	日田条里咸宜園地区	大字南豆田字中城	電線地中化	5㎡	0728～1002	
---	-----------	----------	-------	----	-----------	--



平成11年度日田市内調査遺跡分布図 (1/50,000)

2) 発掘調査・確認調査の概要

1. 隈山遺跡 (KMY) - 墓地造成に伴う発掘調査 -

所在地 大字石井字熊山1190

調査面積 約200㎡

担当者 土居和幸・行時志郎・吉田博嗣・若杉竜太・森山敬一郎

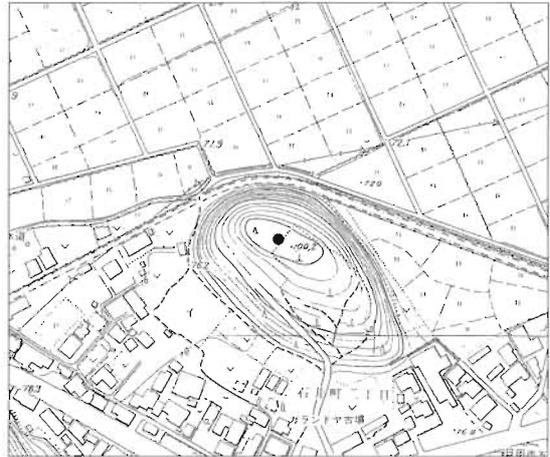
調査期間 0420~0526

遺跡の概要

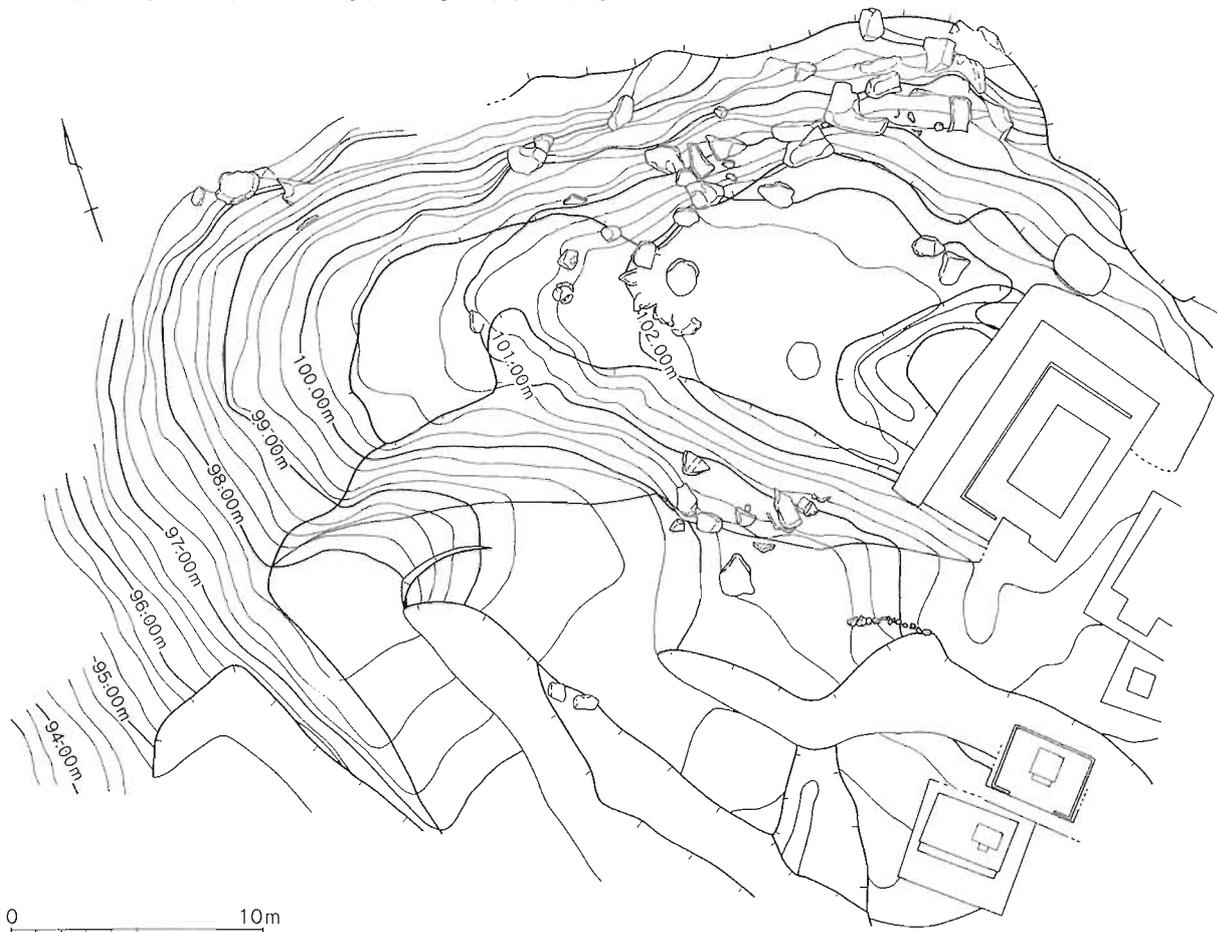
遺跡は盆地南東部の三隈川左岸の通称隈山と呼ばれる独立丘陵上に位置する。この丘陵は日隈山、月隈山、星隈山と並んで盆地内に特徴的に見られる地形の1つである。この丘陵北側には装飾が施された横穴式石室を主体部とするガランドや古墳群が存在する。さらにその南側の台地上には同じく装飾の横穴式石室をもつ穴観音古墳がある。

調査は前年度に引き続いて、遺跡の地形測量をおこなった。地表全体に散乱している石には川原石の他、凝灰岩や緑泥片岩があり、人工的な構築物の可能性が認められるものがあつた。そのうち、特にその配置状況から何らかの遺構と認められたものの、個別の遺構実測を行い、調査を終了した。

調査では石の配置状況や加工された凝灰岩、緑泥片岩などから何らかの遺構の存在が認められた。五輪塔の一部も散乱しており、これらの石は墓などに伴う施設と考えることができよう。また前年度調査と同様に中世後半頃の土師質土器が採集されており、これらの遺構がこの時期のものとするのが妥当であろう。(若杉)



遺跡位置図 (1/5,000)



遺跡周辺地形測量図 (1/300)

2. 大肥条里祝原地区 (OJ-IW) - 県営担い手育成基盤整備事業に伴う発掘調査 -

所在地 大字夜明字道外1566ほか

担当者 土居和幸・吉田博嗣・若杉竜太・五十川雄也

調査面積 7,500㎡

調査期間 0517~0117

遺跡の概要

遺跡は大肥川下流右岸に広がる河岸段丘上に位置する。大肥川は遺跡の南西約70mの地点で三隈川と合流する。この大肥川の川筋は日田盆地には入らないため、この流域に展開する谷地形として一つの完結された景観を呈している。大肥川中流域では、平成10年度に同じ事業目的に伴って大肥条里中村地区の発掘調査が行われ、弥生時代から近世にわたる建物群や住居跡、墓、鍛冶遺構など多くの遺構が見つかった。

調査は試掘調査後に行われた工事設計により、切土予定区域を対象に、当初、地点をA~Cの3区に分けて行っていたが、その後隣接地で試掘調査を行っていない範囲が切土工事の対象区域として設計されたため、立会調査を行ったところ遺構の存在が明らかになったため、この地区をD区とし、A~C区の調査に引き続き、D区の調査を行うこととなった。

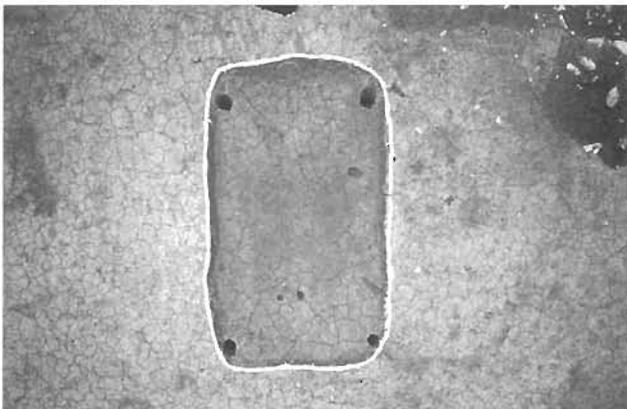
調査の結果、A区からは弥生時代、中・近世の竪穴遺構、土坑、柱穴、溝などが発見された。B区からは弥生時代中期の竪穴遺構や土坑、柱穴などが検出された。このうち、6・7号土坑は四隅にピットが掘り込まれ、炭と焼土が堆積していた。土坑内からの遺物の出土はほとんどなかったが、幾度にも及ぶ焼成の跡が見られたことから土器の焼成坑の可能性も考えられる。C区の調査では土坑、柱穴などが発見された。

D区では、A~C区同様、土坑、柱穴などが確認された。その後、これらの遺構検出面より下の層から多くの土器が確認されたため、グリッドを設定し、下層の層の掘り下げ、遺構調査を確認を行った。その結果、先の遺構検出面は縄文時代後期から晩期にかけての土器を多数含んだ包含層であることが確認され、さらに、その下層から土坑、集石遺構などが検出された。

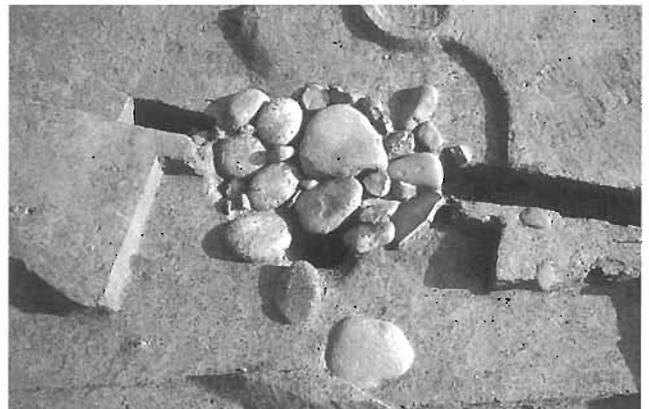
調査の結果として、A~C区では調査地点がD区に比べやや高い位置にあることもあるが、弥生時代や中・近世の遺構が中心であったのに対し、川に最も近い位置にあるD区では縄文時代の遺構・遺物が大量に発見されたことは、当時の生活面が現在とさほど変わっておらず、このことは大肥川の氾濫により、集落が流される危険性が当時から薄かったことを意味している。そうした意味で大肥川は古い時代から安定した流れを保っていたのであろう。このことにより現河川から数mの位置にあるこの遺跡も生活地として利用され続けていたと考えられる。(若杉)



遺跡位置図 (1/25,000)



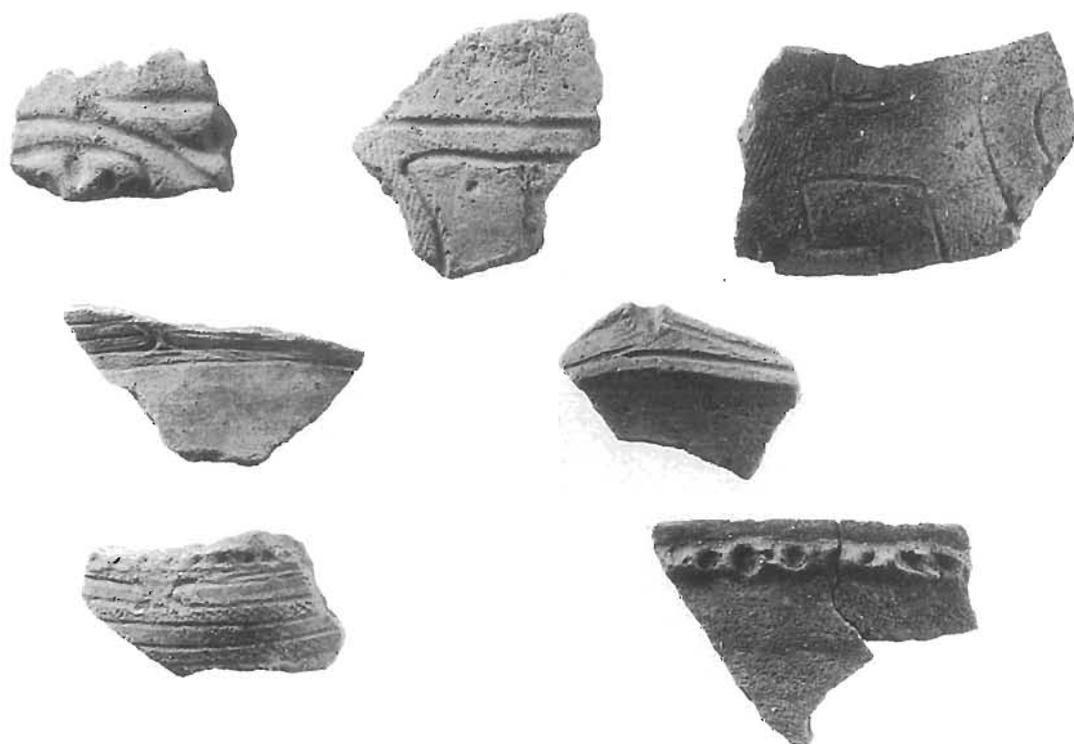
B区6号土坑



D区7号集石



B区空中写真（南より）



D区出土遺物

3. 史跡咸宜園跡 (KAG) - 史跡整備に伴う確認調査 -

所在地 大字南豆田字中城100-1
担当者 土居和幸

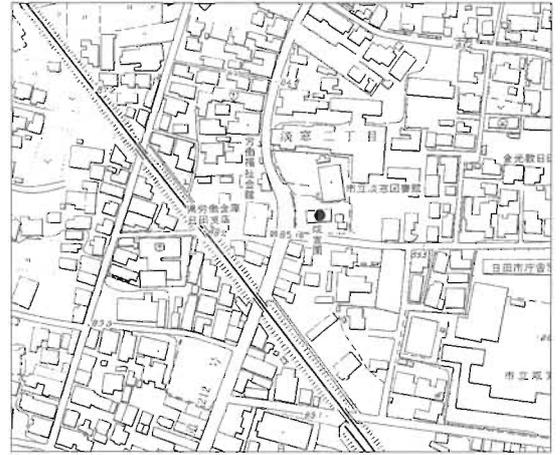
調査面積 342㎡
調査期間 0728~0229

遺跡の概要

史跡咸宜園跡は日田市街地のほぼ中央に位置する。昭和7年に国の史跡に指定された咸宜園跡は、文化14年に広瀬淡窓が開いた私塾で、明治30年にその幕が終わるまでの間、全国から約5千人が入門している。現在、史跡内には秋風庵、遠思楼、井戸跡などの施設が現存しており、これら施設の老朽化に伴って市教委では平成5年からその保存修理や史跡の保存整備に着手し、並行して継続的に発掘調査を実施してきた。

7年目にあたる今回の調査は、昨年度に引き続き修復中である遠思楼施設の当初建設位置の確認と、史跡内の遺構確認を行った。調査の対象とした場所は、平成10年度の調査区の一つである1区において楚石と考えられる川原石1つが検出されていたことから、この遺構の追跡確認を目的に、この1区と平成7年度の調査区の一部、さらにはその西側を対象とした。

調査では近世の遺構面までの埋土を機械を使って剥ぎ、その後遺構の確認を行った。その結果、中世期と考えられるピットや、大正5年に建設された図書館の基礎などが検出された。今回目的としていた楚石と考えられる川原石については、ほかに類似した川原石や抜き取り痕跡がないことから、礎石ではないと判断した。このほか、史跡咸宜園跡に関係すると思われる遺構も、後世の攪乱が著しく、はっきりとは確認することが出来なかった。(土居)



遺跡位置図 (1/5,000)



調査区周辺空中写真 (真上より)



調査区全景 (真上より)

4. 大波羅遺跡 1次A・B区 (OHR-A・B) -市道建設に伴う発掘調査-

所在地	大字田島字大原148ほか	調査面積	A区200㎡	B区1,800㎡
担当者	土居和幸・行時志郎・吉田博嗣・五十川雄也	調査期間	A区0602~0609	B区1208~0331

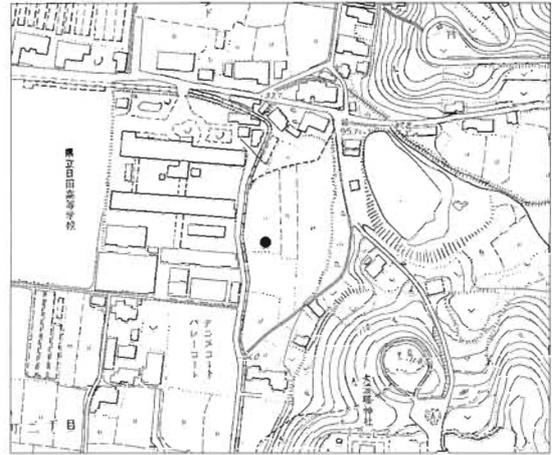
遺跡の概要

遺跡は日田盆地東部の標高90~93mの沖積地に位置し、東側には大波羅丘陵があり、西側には沖積地が広がっている。周辺には、北に慈眼山遺跡、佐寺原遺跡、上ノ馬場遺跡、東に赤迫遺跡、薬師堂山古墳、南には会所宮遺跡、法恩寺山古墳群などが所在する。

遺跡は道路建設に伴う発掘調査で、北側から調査を開始し、今年度はA区、B区の調査を行った。北側にあたるA区では溝状遺構、土坑1、多数のピットが検出された。B区では自然流路、弥生時代の溝1条、古墳時代の溝3条、ピット、古代の区画溝、掘立柱建物2軒、竪穴状遺構1基、土坑9基、溝9条が検出された。また、土坑から「□山」の銘、溝からは「山」の銘の入った墨書土器が出土し、竪穴状遺構からは瓦片が出土した。

発見された遺構から遺跡が弥生時代から古代の時期幅を持つことが分かった。この内、多数の溝は弥生時代から古墳時代にかけて、遺跡周辺部に集落が存在していたことを示している。古代において遺跡が集落として使用されたものと判断されるが、特にB区で検出された古代の掘立柱建物とそれを区画する溝で構成される施設の存在は、古代の社会を知る上で貴重な資料と言える。また、これらと同時期の遺物として墨書土器や瓦が出土していることから、本遺跡が古代の集落としても特異な性格を持つものと判断される。今回の調査では遺跡の全容を把握するに至っていないことから、これらの問題は今後の調査においての課題といえる。

(五十川)



遺跡位置図 (1/5,000)

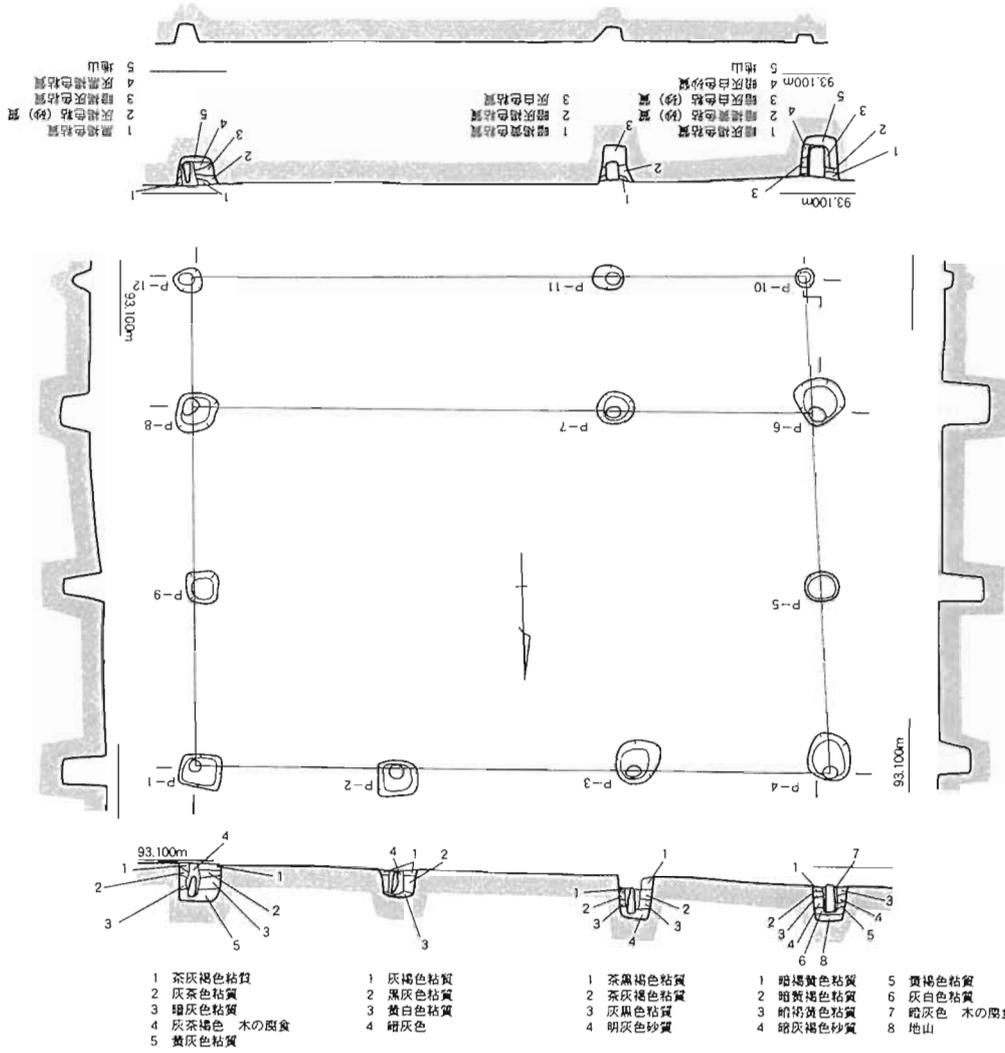
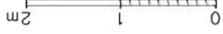


A区全景 (南西から)



B区全景 (真上から)

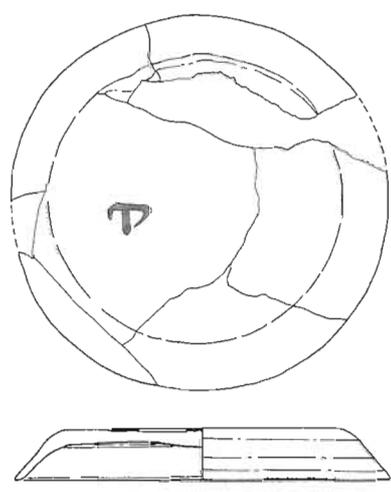
1号掘立柱建物実測図 (1/80)



器干量器 [山]



[山] 器量土器実測図 (1/3)



- | | | | |
|--|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 1 茶灰褐色粘質 2 灰茶色粘質 3 暗灰色粘質 4 灰茶褐色、木の腐食 5 黄灰色粘質 | <ul style="list-style-type: none"> 1 灰褐色粘質 2 黄灰色粘質 3 黄白色粘質 4 暗灰色 | <ul style="list-style-type: none"> 1 茶黒褐色粘質 2 茶灰褐色粘質 3 灰黒色粘質 4 明灰色砂質 | <ul style="list-style-type: none"> 1 暗褐色粘質 2 暗黄褐色粘質 3 暗黄褐色粘質 4 暗黄褐色粘質 5 黄褐色粘質 6 灰白色粘質 7 暗灰色、木の腐食 8 地山 |
|--|--|--|---|

5. 本村遺跡 (HNM) -住宅建設に伴う発掘調査-

所在地 大字渡里字本村866-1

調査面積 200㎡

担当者 土居和幸・行時志郎・吉田博嗣

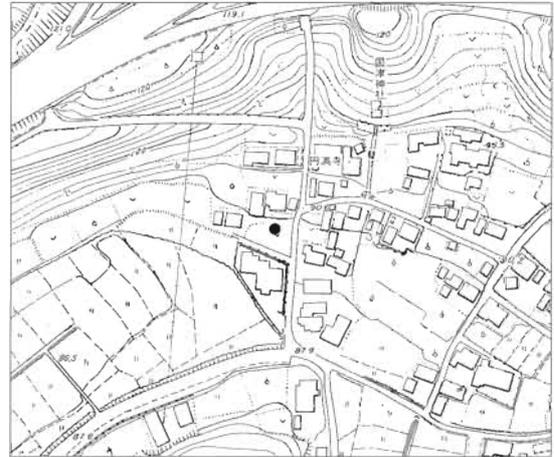
調査期間 0615~0616

遺跡の概要

遺跡は日田盆地北部の谷状に広がる沖積地の微高地上にある。本村遺跡の北西部の台地上には小迫辻原遺跡、南西部の台地上には吹上遺跡といった旧市を代表する遺跡が存在する。

本村遺跡では掘立柱建物が1棟、溝状遺構1条が検出され、掘立柱建物柱穴の中からは土師質土器片が、溝の中からは古墳時代の須恵器がそれぞれ出土している。

調査の結果、当該時期の遺構が台地の裾にあたる沖積地一帯にまで広がることが確認された。(行時)



遺跡位置図 (1/5,000)



本村遺跡全景

6. 日田条里上手地区2次 (HJ-NBT-2) - 宅地造成に伴う発掘調査 -

所在地 大字西有田字上手48-1

担当者 行時志郎・吉田博嗣

調査面積 850㎡

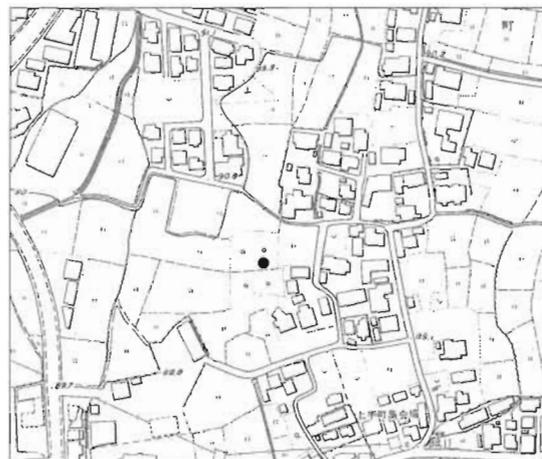
調査期間 0728~0811

遺跡の概要

遺跡は日田盆地北部の沖積微高地上に位置する。西側の隣接地は、平成9年度に別の開発事業目的で調査され、掘立柱建物跡9棟、土坑のほか多数の溝状遺構が検出されている。

今年度の調査では、掘立柱建物7棟、土坑4基などが検出された。建物群は調査区北西側に4棟、南側に1棟、東側で2棟検出されたが、1号建物は2×3間の母屋に東、西、南側へ向けて庇が取り付く。調査区西側の建物群及び南側1号建物は、柱穴内から出土した遺物から、いずれも11~12世紀にかけての時期、また東側の建物跡は柱穴より出土した遺物から15~16世紀にかけての時期と推定される。また2号建物跡についても建物軸方向が3号とほぼ同じことから、3号建物と同様の時期の可能性が高い。この他土坑については、特に3・4号土坑から11世紀代の滑石製石鍋を含んだ多量の遺物が出土しており、建物群と関わって存在したと考えられる。

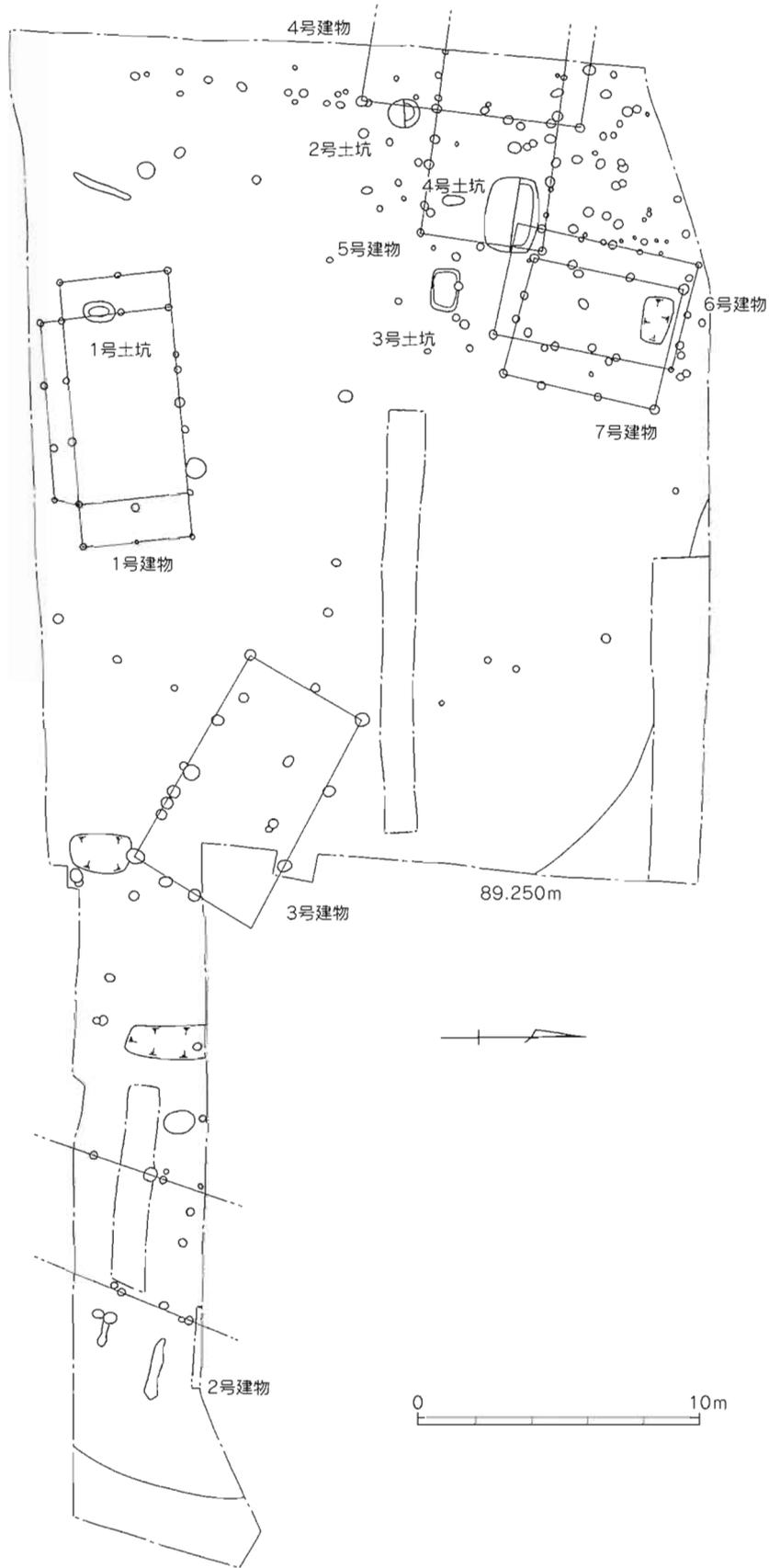
今回の調査では、11~12世紀代の建物群が集中する範囲は、調査区西半までであり、東側には確認されなかった。また、1次調査区内で検出された建物群はいずれも11~12世紀代であり、このことから今後周辺部の調査により、別の建物群が発見される可能性はあるものの、少なくとも1次調査区から続く建物群の範囲はある程度押えられたことになる。また、逆に15~16世紀にかけての建物跡は、遺構・遺物の内容から1次調査区へは広がらず、調査区東半より東側に向かって展開していくものと想定される。(行時)



遺跡位置図 (1/5,000)



調査区全景



調査区遺構配置図 (1/250)

7. 吹上遺跡 (FKA) - 遺跡の範囲確認調査 -

所在地 大字小迫字吹上原194
担当者 土居和幸・下村 智

調査面積 300㎡
調査期間 0726～0831

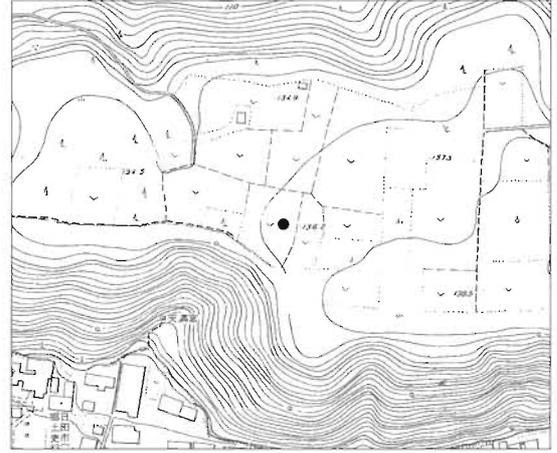
遺跡の概要

吹上遺跡は日田盆地北部の標高約140mの市街地を一望する台地上に位置する。この遺跡ではこれまでに9回の調査が行われ、平成7年度の6次調査では、弥生時代中期後半の鉄器、青銅器、貝輪、玉類を副葬する大型成人用甕棺墓8基、木棺墓3基が発見され、特定集団墓として注目された。

今回の10次調査は、6次調査以後の遺跡の保存を目的とした確認調査の4年目にあたり、9次調査に引き続きその北側と西側を拡張するかたちで行った。調査では弥生時代前期末から中期後半の円形竪穴住居1基、袋状貯蔵穴13基、土坑21基、掘立柱建物2棟、甕棺墓2基、木棺墓1基、土壙墓5基、ピット多数のほか、弥生時代後期後半から後期終末の溝1条、竪穴住居3基の遺構が確認された。

とくに、前者の遺構は9次調査からの延長上にあり、なかでも墳墓群については10次調査地点より北へと広がる可能性が低いことが確認できた。また、弥生時代後期後半から後期終末の溝 (SD100) は幅約2.5m、断面は「V」字状をなし、南北方向へと延びており、環濠もしくは条溝の一部と推定される。

10次調査での大きな成果は、弥生時代後期後半から後期終末の溝 (SD100) の発見であろう。これまでの調査において、溝と考えられる遺構は検出されていたが、今回のようにはっきりとは確認できておらず、このことにより、少なくとも後期後半から後期終末の本遺跡にも環濠集落が存在していたことが想定されることとなり、集落構造の様相の一部が明らかとなったと言える。さらに、隣接して存在する、弥生時代後期終末から古墳時代前期初めの環濠集落や居館が調査されている小迫辻原遺跡の前段階にあたる意味でも、興味深い資料となり得た。(土居)



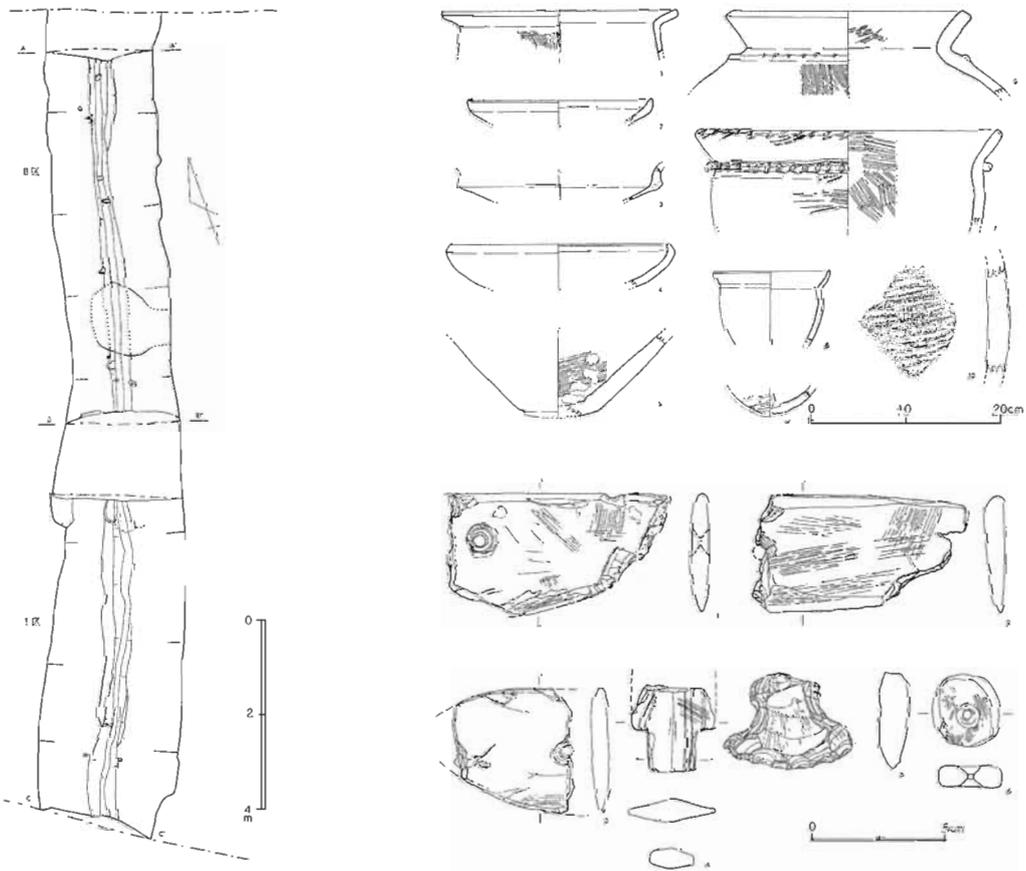
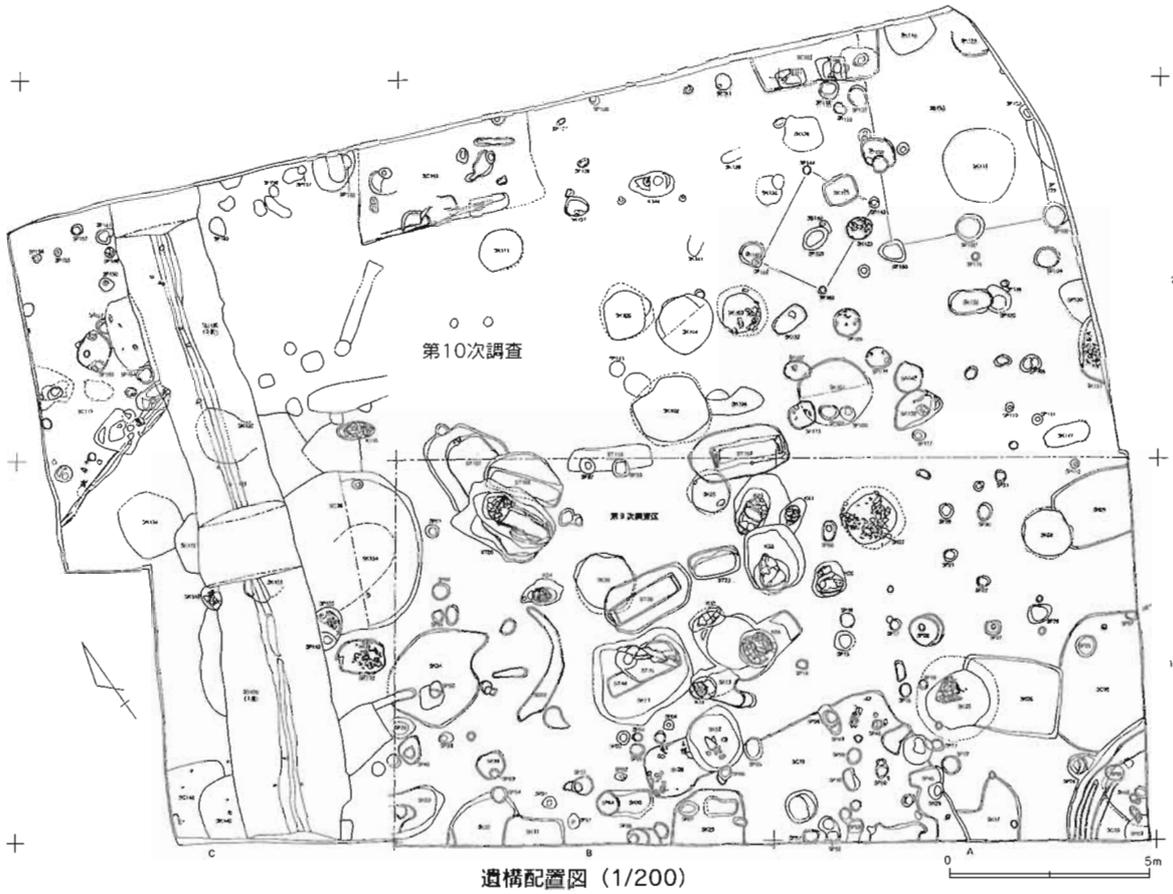
遺跡位置図 (1/5,000)



調査区周辺空中写真 (北より)



調査区全景 (真上より)



8. 朝日ヶ丘遺跡3次（ASH-3）－市営住宅建設に伴う発掘調査－

所在地 大字小迫字小迫原625-1ほか
担当者 土居和幸・若杉竜太・五十川雄也

調査面積 1,250㎡
調査期間 0830～1025

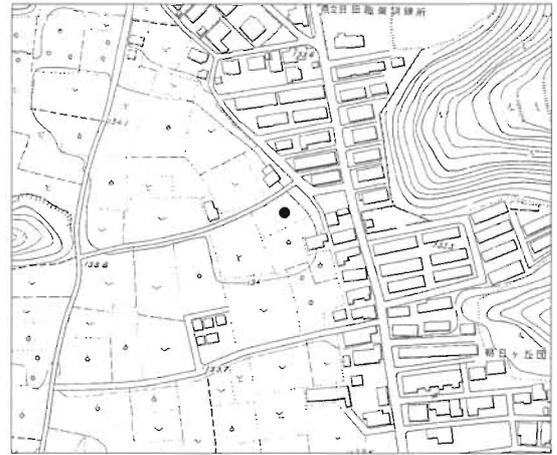
遺跡の概要

遺跡は日田盆地北部、標高約140mの小迫原台地上に位置する。台地北側には小迫墳墓群や小迫古墳、同南側崖面には北友田・吹上横穴墓群が存在し、また、隣接する台地東側には数次にわたって調査がなされ、銅戈・銅剣、勾玉・管玉・貝輪などを副葬する甍棺墓・木棺墓が発見された吹上遺跡が存在する。

これまで、県営住宅建設に伴って2度の発掘調査がなされ、縄文時代の土坑や弥生時代の竪穴住居跡が検出されている。遺跡はその南側に隣接し、2ヶ所の調査区を設けた。調査区西側のA区では多数のピットが検出され、縄文時代後期～晩期の土器、2次加工剥片等が出土した。東側のB区では、畑の区画溝と思われる溝2条、土坑2基（うち1基は落とし穴と思われる。）、ピットが検出され、近世の土器等が出土した。

今回の調査では多数のピット群が検出されたが、建物となりえるものは検出されず、隣接する1、2次調査地点でも確認された縄文時代の落とし穴と思われる土坑が検出されたことから、遺跡が当時、狩猟地であったことが考えられる。

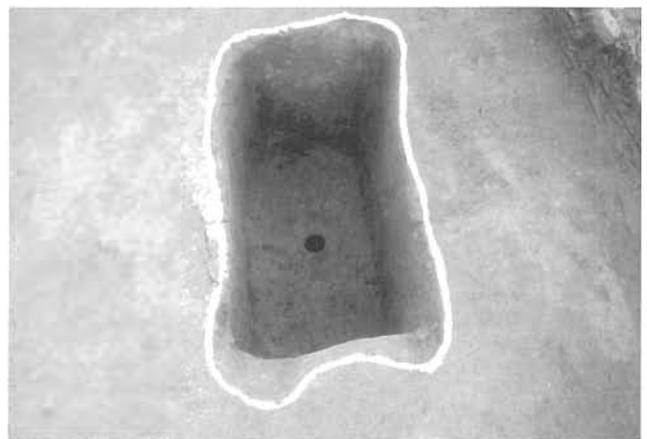
また、吹上遺跡、小迫辻原遺跡、朝日宮ノ原遺跡、後迫遺跡などの遺跡周辺の台地上では弥生～古墳の大規模集落が営まれており、この調査結果から比較すると、本遺跡は集落の痕跡が極端に希薄な場所と考えられる。今後、この台地の縁辺部の状況が明らかになっていくことにより、遺跡の性格が明らかになってこよう。（五十川）



遺跡位置図 (1/5,000)



調査区遠景 (真上より)



1号土坑 (落とし穴状遺構)

9. 天満古墳群3次 (TMN-3) -遺跡の範囲確認調査-

所在地 大字小迫字天神山1854ほか
担当者 土居和幸・下村 智

調査面積 80㎡
調査期間 0916~0927

遺跡の概要

天満古墳群は日田盆地北部の標高120mの通称宮原台地上に位置している。沖積地からの比高差は約40mで、古墳を含む周辺一帯は朝日宮ノ原遺跡が存在し、東側の小支谷を挟んだ台地には小迫辻原遺跡が存在する。

天満古墳群は前方部を向かい合わせに築造された2基の前方後円墳で構成されている。これまで2次にわたる調査を実施し、1次調査では2号墳の確認調査が行われ、復元長約60m、2重の周溝が多角形に巡る特異な形態が明らかにされ、2次調査では1号墳の墳丘測量を実施し、復元長33m、後円部径22m、高さ2m、前方部長11m、前方部幅14m規模



遺跡位置図 (1/5,000)

の古墳であることが明らかとなった。今回は、墳丘測量によって確認された1号墳の規模の確定や墳丘の構造を明らかにするために、墳丘の周囲に4本のトレンチを設定し、発掘調査を行った。その結果、墳丘には葺石や埴輪は認められず、周溝が南側のみに確認された。この周溝は、墳丘南側からしか確認出来なかったことから、どのように巡るのか今後全容の把握が必要となろう。また、前方部では、積石状の遺構が検出され、横穴式石室の第2主体部の存在が想定された。

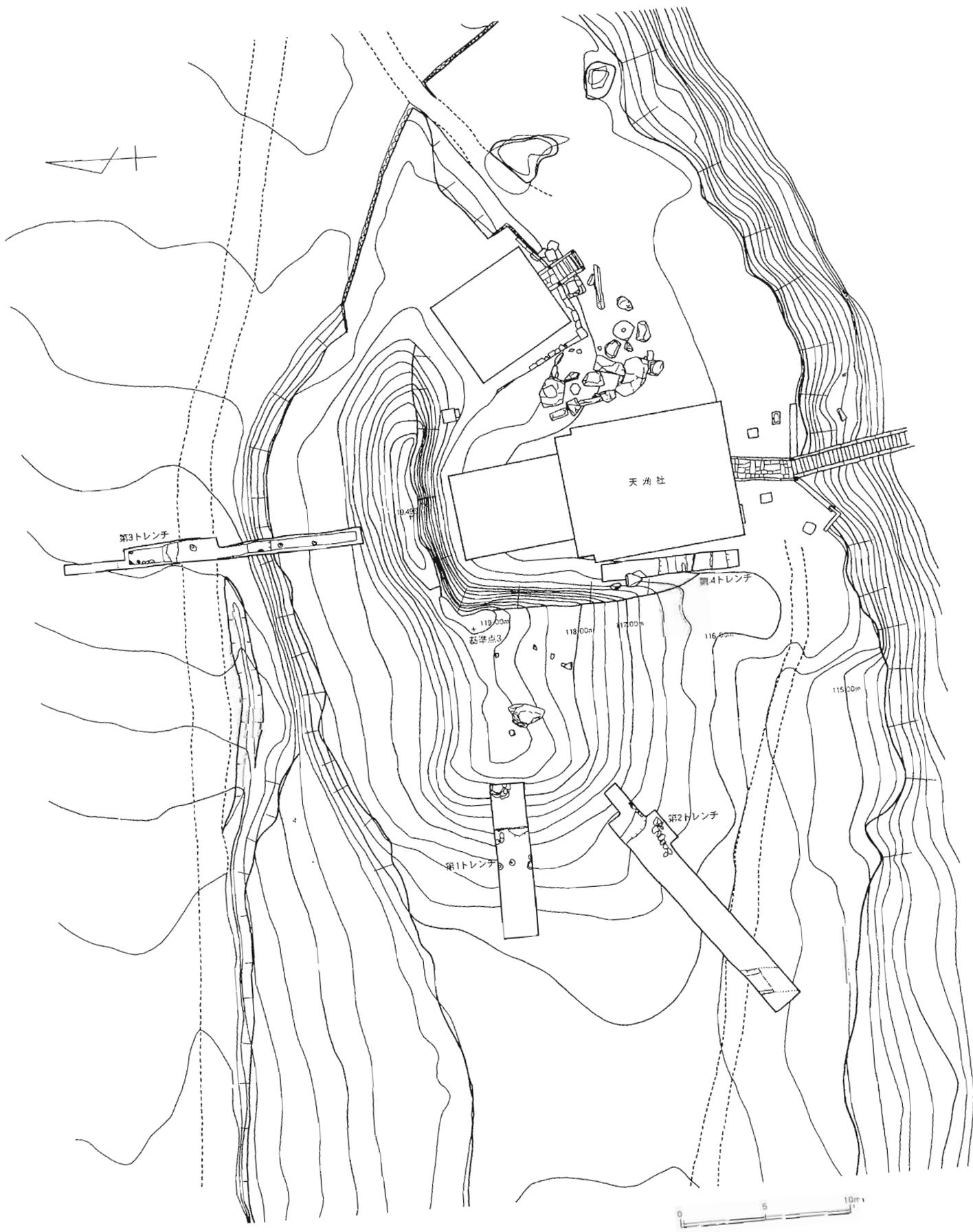
今回の第1トレンチで検出した石積みが前方部に付設された第2石室と考えられることは、1号墳がすでに主体部の破壊を受けており、現地に散在する石室の残骸やその当時出土した遺物でしかその概要がつかめなかったというこれまでの状況に対して、1号墳の内容を把握し、対峙する2号墳との関係などを今後検討するうえでの貴重な資料となりえるといえる。(土居)



石積遺構検出状況



第4トレンチ周溝土層断面



天満1号墳墳丘測量図 (1/300)

10. 元宮遺跡2次 (MTM-2) -土砂採取に伴う発掘調査-

所在地 大字求来里字堂園604-1ほか
担当者 行時志郎・吉田博副

調査面積 105㎡
調査期間 0902~1001

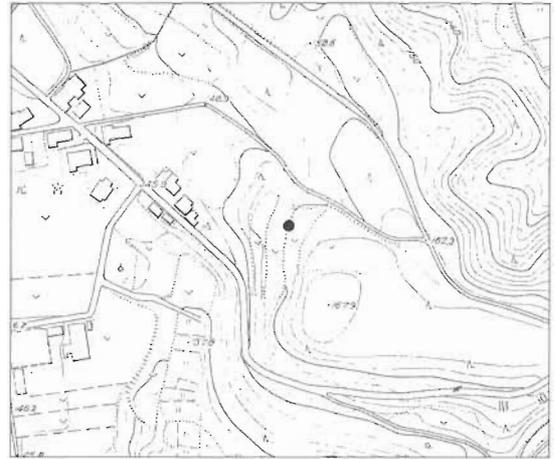
遺跡の概要

遺跡は、日田盆地東部の元宮原台地を見下ろす丘陵上に立地する。

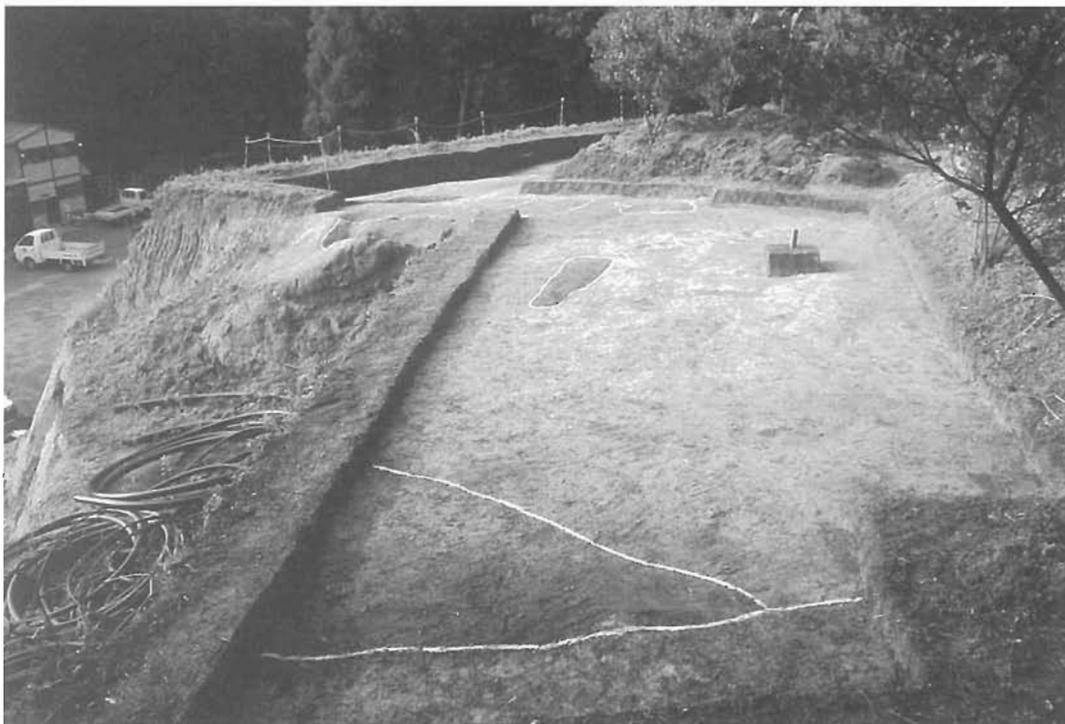
1次調査では、工事中に人骨を伴った石棺墓が出土したため、その遺構については昨年度調査を行っている。今年度はその区域の東側の切土となる約半分の面積について、発掘調査を実施した。

その結果、甕棺墓1基、木棺墓又は土坑墓3基、溝状遺構1条が確認された。

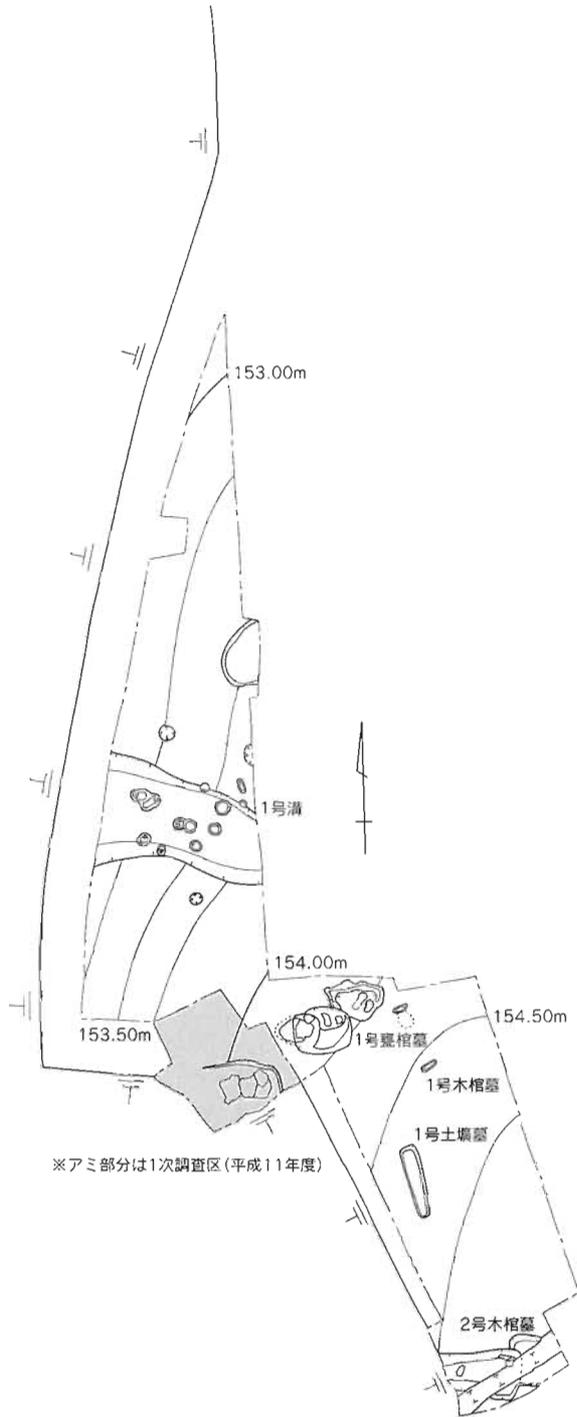
このうち、甕棺墓の中からは成人人骨1体が出土した。甕棺の時期については底部の形状などから弥生時代後期中頃から後半にかけてと考えられる。また1号土坑墓の中からは、土器底部片などが出土したが、この時期については、弥生時代中期末から後期前半にかけてと推測される。(行時)



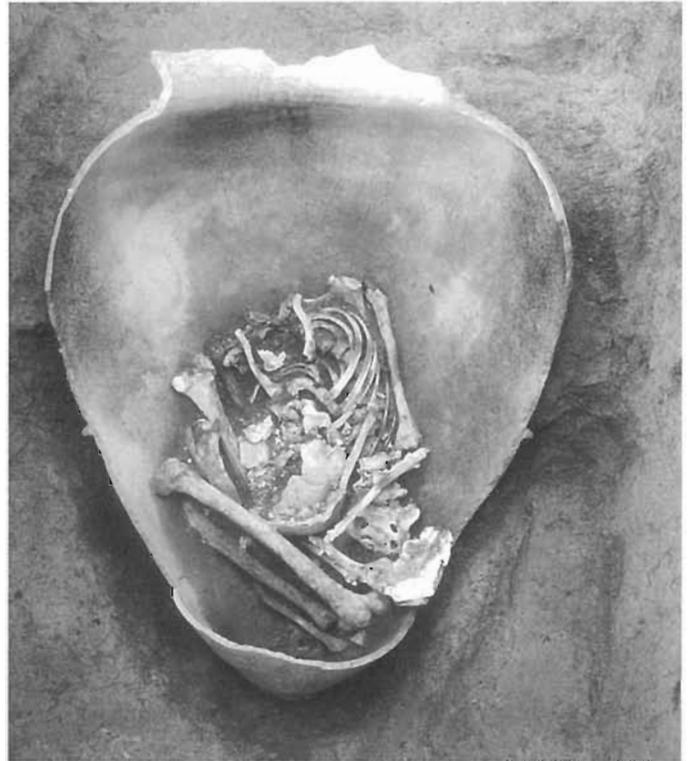
遺跡位置図 (1/5,000)



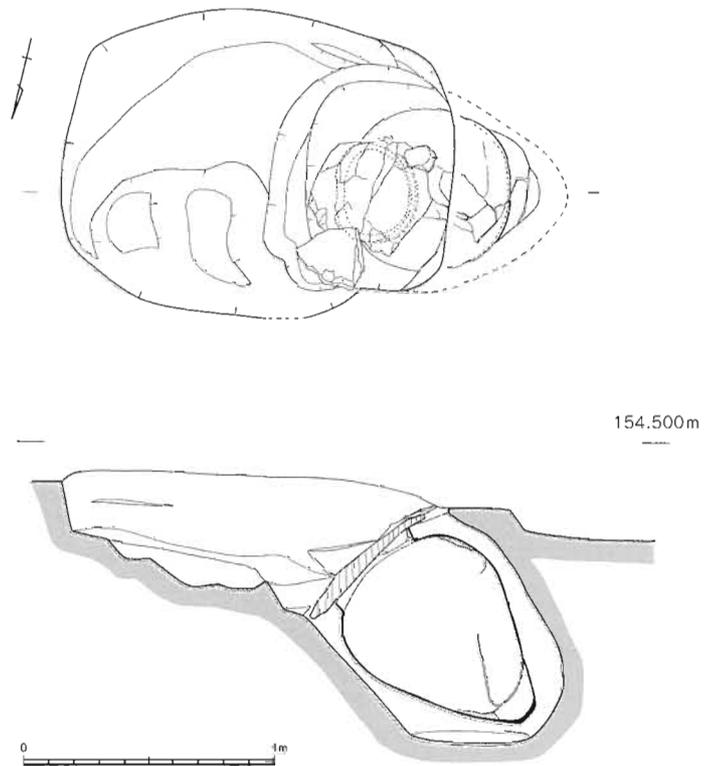
調査区全景



調査区全体図 (1/200)



1号墓棺壘人骨出土状況



1号墓棺壘実測図 (1/30)

11. 大肥条里上村地区 (HJ-KM) - 県営担い手育成基盤整備事業に伴う発掘調査 -

所在地 大字夜明字上村	調査面積 235㎡
担当者 若杉竜太・五十川雄也	調査期間 0928~1029

遺跡の概要

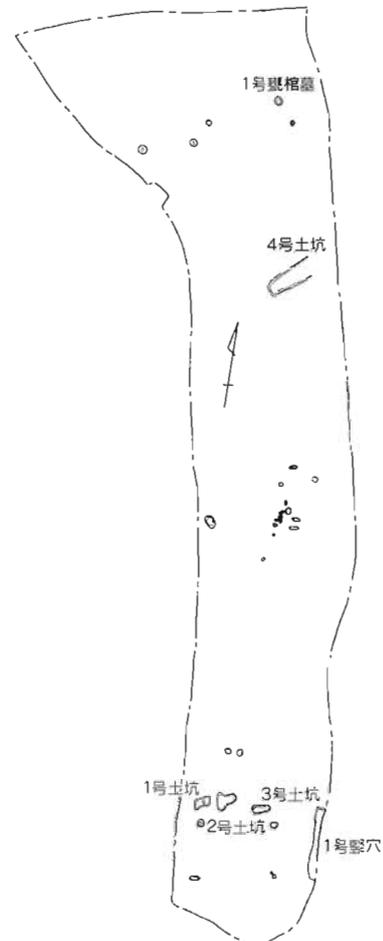
遺跡は大肥川右岸の河岸段丘上に位置する。周辺は水田によって大きく地形を改変されている。調査区は川から2つ目の段にあたる。また、遺跡周辺は川の両岸にわたって沖積地が広がり、耕地や集落が見られる。

調査地点は試掘調査を行っていなかった範囲で切土工事の対象区域となるため、立会調査を行った。その結果、土坑・柱穴などが確認されたため、発掘調査を行うこととなった。調査では甕棺墓1基、竪穴遺構1基、土坑4基、その他柱穴などが検出された。甕棺墓はほとんどが削平を受けており、墓壇・甕棺ともに最下部がかろうじて残存している程度であった。時期は弥生時代中期頃のものと考えられる。その他、竪穴遺構や土坑から遺物がほとんど出土せず、時代が明確にわかるものは少なかった。

今回の調査では、遺構面が大きく削平されていたこともあり、遺跡の性格を十分に把握するまでには至らなかった。しかし、甕棺が発見されたことから当該期における墓地の存在も想定され、また、調査区に隣接する地点では試掘調査時に鍛冶遺構も発見されている。上流に位置する大肥条里中村地区でも小児用甕棺墓群や鍛冶遺構が発見されており、これらの遺跡の広がりを考える上で重要である。(若杉)



遺跡位置図 (1/25,000)



調査区全体図 (1/600)



1号甕棺墓出土状況

12. 元宮遺跡3次 (MTM-3) -ケアハウス建設に伴う発掘調査-

所在地 日田市大字求来里字堂園607-2ほか

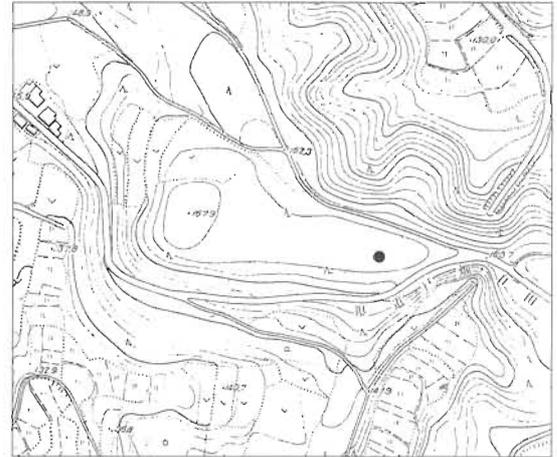
調査面積 1,492㎡

担当者 土居和幸・行時志郎・吉田博嗣・若杉竜太

調査期間 0928~1119

遺跡の概要

遺跡は盆地東部の通称「元宮原」と呼ばれる台地を見下ろす、標高155m前後の小高い丘陵平坦部にある。元宮遺跡は平成10年度に行われた1次調査以前まで、本格的な調査は行われていなかったが、古くは畑地開墾の際に弥生土器や大型成人用甕棺墓、箱式石棺墓、また調査区に隣接する県道建設の際には中世土器が出土している。平成10年度に行われた1次調査では人骨を伴った箱式石棺、平成11年度に行われた2次調査では弥生時代の後期中頃から後半かけての人骨を伴った甕棺、中期末から後期前半の土器が出土した土坑墓が確認されている。



遺跡位置図 (1/5,000)

調査では墓が5基、土坑が11基、塚、方形周溝状遺構、笠塔婆がそれぞれ1基確認された。墓は石蓋土坑墓が1基、石棺墓1基、その他、土坑墓もしくは石蓋土坑墓と考えるものが3基検出された。遺物は石蓋土坑墓である1号墓から刀子1点、2号墓からは小玉33点、勾玉1点、刀子1点、3号墓からは鉄鏃1点が出土した。このうち、鉄鏃はその型式から6世紀後半のものと考えられ、これらの墓の時期もその時期にあてることができよう。土坑から出土した遺物はなく、その時期や性格を決めることはできないが、墓の可能性のあるものも存在する。

1号塚は調査区東側で発見され、その頂部に笠塔婆が建てられていた。塚の規模は南北約5.1m、東西約5.7m+α、現高約80cmのやや長方形気味の平面形を呈する。また、その周囲には舟底状の断面形を呈する周溝が巡らされていた。また、塚の土層断面の観察から版築状に盛土を行っていたことが判明した。出土遺物は塚の掘り下げ時に土師質土器の小皿などが見つかり、14世紀中頃から後半のものと考えられる。笠塔婆は1号塚頂部の中央よりやや西よりに建てられていた。石材は凝灰岩である。また、その下部に据えられた基壇にホゾ状の穿孔を施し、塚まで掘り込まれていた。笠塔婆は基壇上面からの高さ約1.5m（全長約2.7m）、幅約70cm、厚さ約20cmを測る。また、笠塔婆には両面に2段の梵字があり、正面上段に釈迦（バク）、下段に弥陀（キリーク）、裏面上段に胎藏界大日如来（アーンク）、下段には金剛界大日如来（バーンク）が彫られていた。さらにこの彫り込み面には墨が塗布された痕跡が見られた。時期は基壇正面に書かれた由来文、薬研彫りの梵字などから14世紀中頃と考えられる。

1号塚の東側で検出された方形周溝状遺構は南北約5m、東西約5.1mの隅丸方形を呈する。断面逆台形を呈する周溝は幅50~60cm、深さ25~30cmであった。遺物は出土していない。

今回の調査で確認された土坑墓は6世紀後半代のものと考えられ、この時期のものは市内でも類例がない。さらに1・2次調査で見つかった墓からこの一帯が弥生時代以来、連綿と続く墓群であった可能性が考えられる。塚、笠塔婆については調査区北側に存在する塚状のマウンド、倒壊した石碑や県道建設時に出土した中世上器の存在など周辺地域の中世期を考える上での材料は多いことが指摘できる。（若杉）

13. 山ノ口遺跡 (YMK) ー用地造成に伴う発掘調査ー

所在地 大字山田字山ノ口998-1 ほか
担当者 行時志郎・若杉竜太

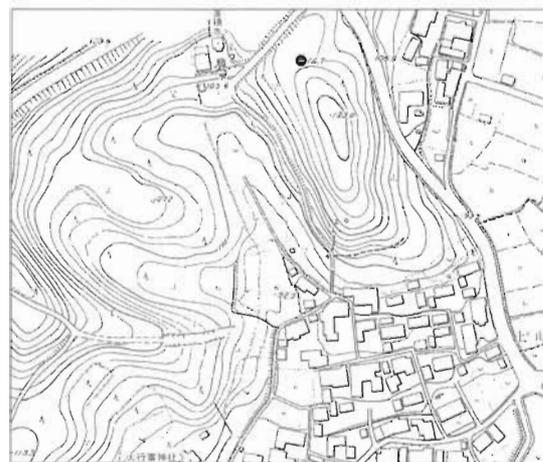
調査面積 840㎡
調査期間 1118～1215

遺跡の概要

遺跡は、日田盆地北部の沖積地を見下ろす丘陵小谷に立地する。遺跡の南側には、南北方向に開けた谷部があり、その向かい側の台地上には、弥生時代や中世の集落、墓地が発見された朝日宮ノ原遺跡があり、また台地の先端には、日田市内最大規模を誇る天満古墳群が存在している。

調査区からは、谷地形となっている緩やかな斜面に多数のピット群が検出され、その下の層からは縄文時代晩期の土器や石器が検出された。また、調査区の最も高い位置からは、一面焼成を受けた土坑が1基検出され、この土坑のまわりからは、これに付属して掘られたとみられる柱穴が、土坑の周囲を囲むように配置されていた。土坑の時期については、15～16世紀だと考えられる。

調査結果から、縄文時代の遺構は、谷の下部へ向かって広がる様相を呈しており、集落遺構などがそこから検出される可能性がある。また、中世の遺構については、隣接する西側に中世期の仏像が安置されている宝積寺があり、その墓所が調査区の南側に接することから、それと関わりを持ってつくられた施設の可能性がある。(行時)



遺跡位置図 (1/5,000)



調査区全景

14. 後迫遺跡 (USZ) - 県営畑地帯総合整備事業に伴う発掘調査 -

所在地 大字三和 (里道)

調査面積 400㎡

担当者 土居和幸・行時志郎・吉田博嗣・若杉竜太

調査期間 1206～0330

遺跡の概要

遺跡は盆地北部の通称山田原台地の南端に位置する。山田原台地は辻原台地・吹上原台地・宮原台地など遺構が数多く密集する台地のなかでも最も発達した台地である。

調査は前年度から継続し、真砂土で埋め戻した地点から再開し、下層の遺構確認を行い、竪穴住居跡・円形住居跡が21軒、竪穴遺構・土坑が多数見つかった。また、前年度に見つかった4基の石棺の掘り方の確認を行った。

甕棺墓は調査区の北側隅、4号石棺墓の南側で検出された。墓壙の上面は削平を受けていたが、甕棺はほぼ完形で出土した。墓壙は2段掘りであり、甕棺墓は単棺で凝灰岩製の石蓋

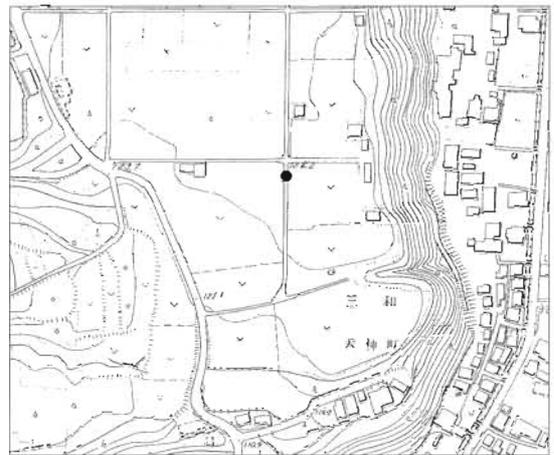
を被せていた。甕棺は胸部中央付近に2条の断面台形の突帯を巡らせていた。さらにその内部に人骨が残存していたが、風化が激しく、ほとんど原形をとどめていなかった。

竪穴住居跡の多くは弥生時代中期を中心とする時期であるが、後期のものも見ついている。また、調査区の幅が狭かったため、竪穴遺構としたもののうちでも支柱穴や炉跡が確認できなかったことから住居跡として確認できなかったものも多く、周辺の調査により全貌が明らかになると考えられる。

中世溝は調査区の南端で見つかった。検出面で幅約2.9m、深さは約1mでその断面形は逆台形であった。埋土中より青銅製の筭が1点出土している。

今回の調査では前年度同様に多くの住居跡が見つかり、弥生時代中期～後期にわたって集落が営まれていたことがわかった。また、甕棺墓は弥生時代中期後半～末のものと考えられる。前年度の調査では古墳時代初頭の箱式石棺墓が見つかり、古墳時代になった後も墓域として利用されたことがわかる。

また、中世溝についてはこの台地に城があったことの傍証にもなりうると考えられる。調査区周辺には城ノ辻、城脇、上ノ堀など城に関する字名も多く残っており、今後の詳細な検討が必要である。(若杉)



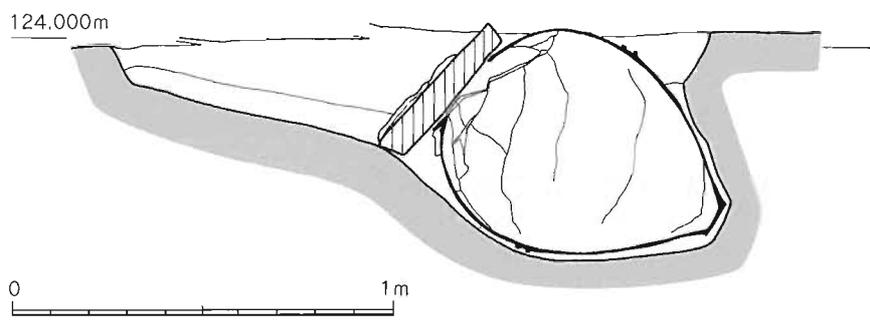
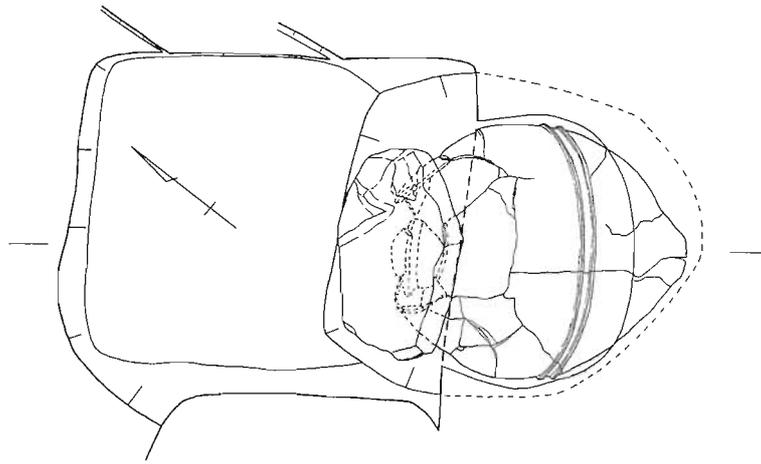
遺跡位置図 (1/5,000)



2区8号住完掘状況



中世溝土層断面



1号墓棺墓 (1/20)



4号石棺墓・1号墓棺墓検出状況

15. 三和教田遺跡G地点 (MKD-G) —分譲住宅工事に伴う発掘調査—

所在地 大字三和字大塚2477-1

担当者 行時志郎・吉田博嗣

調査面積 500㎡

調査期間 0111~0201

遺跡の概要

遺跡は、日田盆地北部の沖積微高地上に立地する。調査区のすぐ西側には、弥生時代後期後半から終末にかけての時期を主体とし、合わせて弥生時代中期初頭や中世（12世紀代）の土坑も検出されたA地点があり、また南西の丘陵上には、弥生時代後期後半から終末にかけての時期の環濠集落が発見され、合わせて古墳時代の竪穴住居跡や溝、中世の掘立柱建物跡なども検出されたB地点があり、このB地点から、東に向かって丘陵を下った裾部には、縄文時代後期や弥生時代の流路が検出されたC・E地点があり、調査区周辺においては各時代を通じて様々な遺構が存在していたことが、近年の発掘調査で確認されてきている。



遺跡位置図 (1/5,000)

今回の調査区では、杭列を伴った溝1条、及びそれ以前の流路跡が検出された。これらの遺構群の上には灰白色の中世の遺物を含んだ包含層が確認されているが、この層は水平堆積で下部は橙褐色の鉄分の沈殿層となっており、水田遺構と推測される。また溝の中からは、器面にタタキ調整を施した土器が出土しており、弥生時代後期終末頃の時期と考えられる。また、流路はそれに切られており、それ以前の縄文時代の可能性が高い。この流路の方向は、縄文時代後期の流路跡が検出されているC・E地点に向かっており、当該時期の川の流れの方向や地形を考える上で参考となる。(行時)



調査区全景

16. 日田条里大原地区1次 (HJ-OH-1) -アパート建設に伴う発掘調査-

所在地 大字田島字大原158ほか

担当者 若杉竜太

調査面積 300㎡

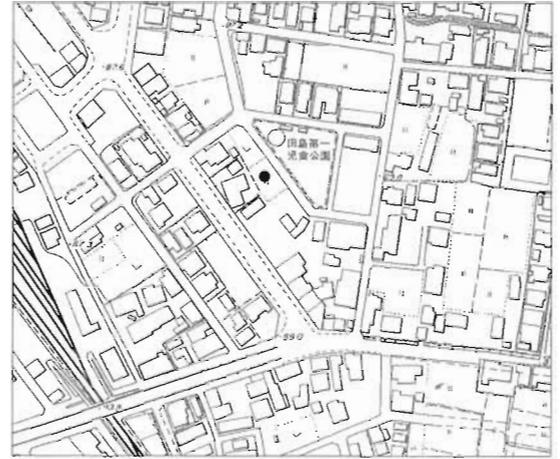
調査期間 0208~0229

遺跡の概要

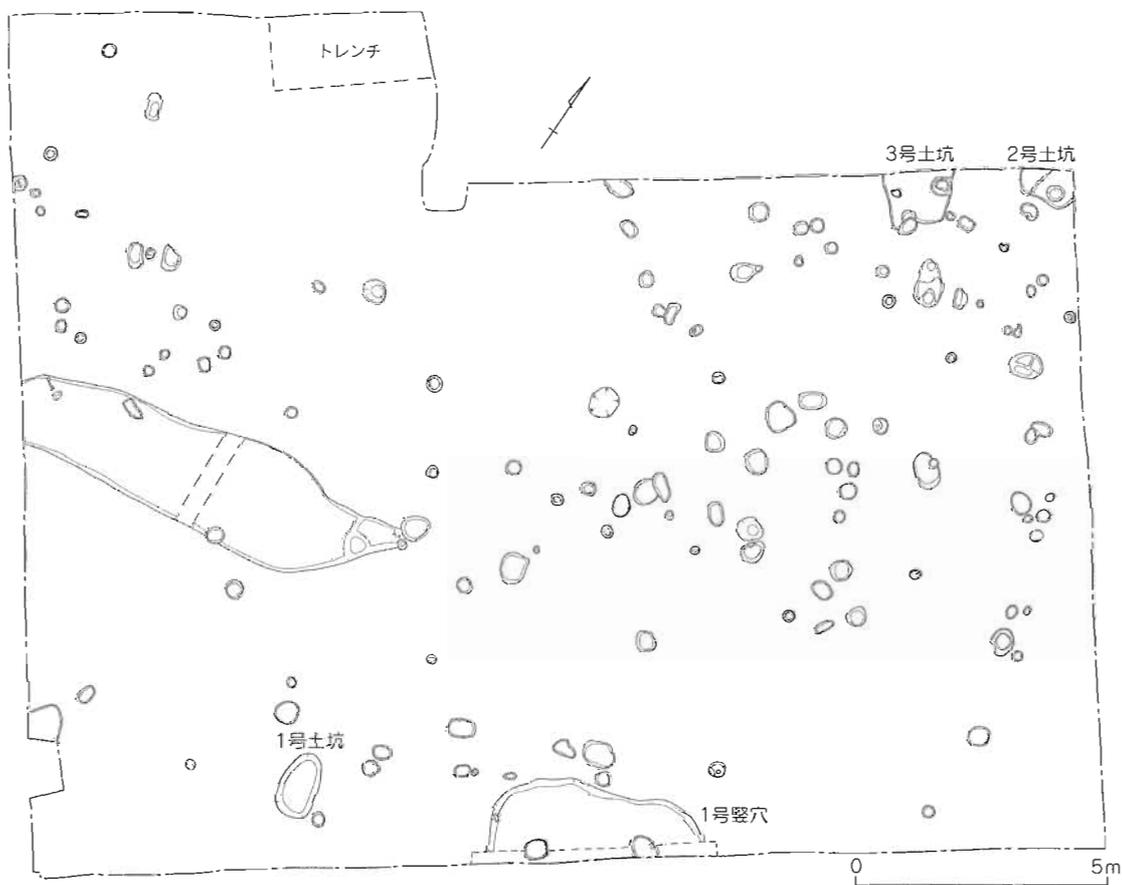
遺跡は盆地中央部の沖積地上に位置する。現状は市街地の中の水田となっており、周辺は宅地化が進み、残された水田もわずかなものとなっている。

調査では竪穴遺構1基、土坑2基、柱穴多数が検出された。竪穴遺構からは須恵器片が出土しており、6世紀後半代のものと考えられる。2号土坑は出土した須恵器坏身から6世紀後半のものと考えられる。また、柱穴からは13~14世紀頃の土師質土器皿が出土している。これらの遺構の調査終了後グリッドを設定し、下層の確認を行った結果、縄文時代、弥生時代の遺物が出土した。

今回の調査では古墳時代の土坑、竪穴遺構や中世の柱穴などを検出した。このことから少なくとも遺跡周辺において縄文時代から中世にかけての生活の痕跡を窺うことができる。また、遺構検出面が砂質土であることやトレンチで確認した最下層で川原石が検出されていることから、川の氾濫を受けていた可能性も考えられ、遺跡周辺に旧河道の存在する可能性も考慮する必要がある。調査例の少ない市街地中心部の様相が明らかになりつつある。



遺跡位置図 (1/5,000)



遺構配置図 (1/150)

17. 日田条里大原地区2次 (HJ-OJ-2) - 個人住宅建設に伴う発掘調査 -

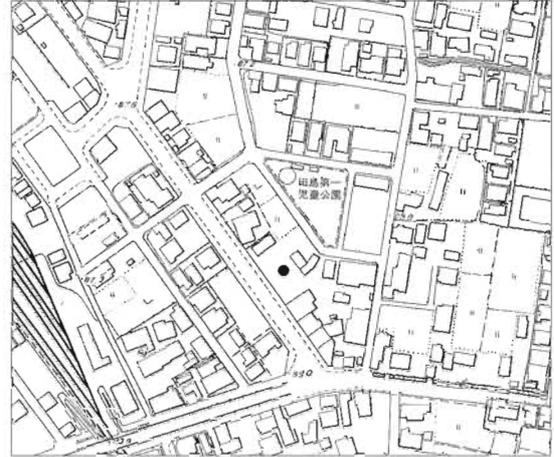
所在地 大字田島字柿ノ木114-1ほか
 担当者 若杉竜太

調査面積 200㎡
 調査期間 0208~0308

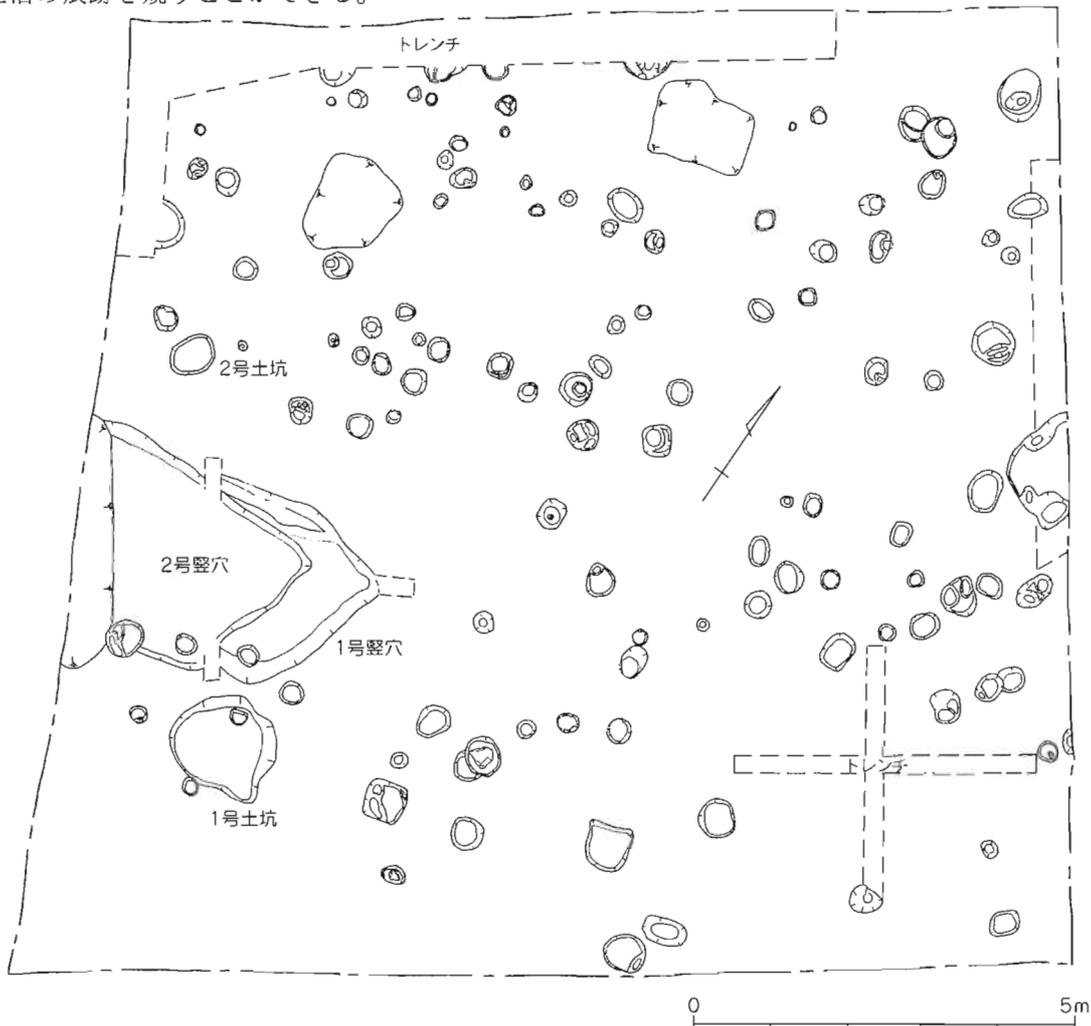
遺跡の概要

遺跡は1次調査区と同じく、日田市街地の南側の沖積地上に位置する。調査区は一部が区画整理による削平を受けていたものの、やや粘性のある黄褐色砂質土に掘り込んだ竪穴遺構2基、土坑2基、柱穴多数を検出した。竪穴遺構2基は切り合っており、1号竪穴遺構からは丸瓦片や11世紀代の土師器椀が出土している。また、2号竪穴遺構からは弥生時代中期中頃から後半の甕の脚部が出土しており、住居跡の可能性も考えられる。この他、1号土坑からは遺物は出土せず時期は不明であるが、2号土坑からは弥生時代中期の甕の胴部片が出土している。

2次調査区では弥生時代と奈良時代の遺構が確認されたが、この他、柱穴出土や一括遺物には古墳時代や中世のものも見られ、1次調査区と同様にこの地域における長期間にわたる人々の生活の痕跡を窺うことができる。



遺跡位置図 (1/5,000)



遺構配置図 (1/100)

3) 平成11年度試掘・立会調査一覧表

	遺跡名	事業目的	調査場所	開発面積	調査面積	調査期間	遺跡の時代	検出遺構	出土遺物	調査所見
18	日田条里上手地区2次	宅地造成	大字西有田字上手48-2	1750㎡	51㎡	110420	中世	溝、柱穴	土器、石鏃	発掘調査実施
19	求来里平島遺跡隣接地	資材置き場建設	大字求来里字室1749-1	1485㎡	12㎡	110511	古墳時代	柱穴、溝	盛土保存による工事実施	発掘調査実施
20	草場第2遺跡隣接地	無線基地局建設	大字渡里字一本出775	225㎡	10㎡	110511~110512	—	なし	土器	工事実施
21	高花遺跡	中山間地域総合整備	大字羽田字高花1498-3	72000㎡	150㎡	110513・110526・110902	縄文時代	包含層	縄文土器・石器	発掘調査実施
22	日田条里遺跡隣接地(後に本村遺跡)	宅地造成	大字渡里字本村886-1	740㎡	30㎡	110520	中・近世	柱穴、溝	土器・青磁	発掘調査実施
23	友田坂本遺跡	宅地分譲	大字友田字坂本2140ほか	1046㎡	16㎡	110525	弥生・奈良	柱穴、溝	土器多数	発掘調査実施
24	日田条里四反畑地区	駐車場造成	大字田島字四反畑8-1	1582㎡	30㎡	110528	古代・中世	柱穴・土坑	土器	発掘調査実施
25	忽田遺跡隣接地	道路建設	大字高瀬字岩下1524-9ほか	983㎡	20㎡	110601	—	なし	なし	工事実施
26	徳瀬遺跡隣接地	住宅建設	大字庄手字笠田288-2ほか	636㎡	10㎡	110603	—	なし	なし	工事実施
27	八田遺跡隣接地	県営圃場整備	大字羽田字山ノ下1948-2ほか	45000㎡	110㎡	110608~110609	中・近世	柱穴	土器・石器	発掘調査実施
28	八田遺跡隣接地	県営圃場整備	大字羽田字山ノ下1948-1ほか	45000㎡	110㎡	110608~110609	中・近世	柱穴	土器・石器	発掘調査実施
29	岩崎遺跡隣接地(後に山ノ口遺跡)	用地造成工事	大字山田字山ノ口998ほか	2773㎡	30㎡	110622	縄文・弥生	柱穴、溝	土器・石器	発掘調査実施
30	大肥条里茶屋ノ瀬地区	県営圃場整備	大字夜明字茶屋ノ瀬	174000㎡	30㎡	110716	中世	土坑・柱穴	土師器	工事実施
31	元宮遺跡4次	農道建設	大字求来里字元宮4021	6900㎡	70㎡	110719	—	近・現代の土坑3基	なし	工事実施
32	八田遺跡隣接地	県営圃場整備	大字羽田字中畑2005ほか	58000㎡	100㎡	110721	—	なし	なし	発掘調査実施
33	朝日ヶ丘遺跡3次	市営住宅建設	大字小迫字小迫原625-1	15647㎡	80㎡	110802	縄文・弥生	柱穴	なし	発掘調査実施
34	大肥条里祝原地区	県営圃場整備	大字夜明字道外1566ほか	174000㎡	114㎡	110804	縄文・弥生・中世	土坑・柱穴	縄文土器・弥生土器・石器	発掘調査実施
35	大肥条里上村地区	県営圃場整備	大字夜明字上村	174000㎡	30㎡	110804	弥生・中世	土坑・柱穴	土師器・弥生土器	発掘調査実施
36	日田条里城北地区	道路建設事業	大字渡里字柏手45-3ほか	810㎡	14㎡	110825	—	なし	なし	工事実施
37	大蔵古城跡	恵眼山総合開発事業	大字北豆田字古城656-1ほか	19600㎡	89㎡	110830~110910	平安末~中世	柱穴・溝2条・段状遺構	土師器・輸入陶磁器・鉄器	発掘調査実施
38	日田条里内堀地区	中学校教室棟改修	大字西有田字内堀1510-1	2566㎡	5㎡	110911	古代・中世	水田層	土器片	工事実施
39	岩崎遺跡隣接地	農業関連事業	大字山田字上原686	2589㎡	30㎡	110918	—	なし	なし	工事実施
40	山田原遺跡隣接地	農業関連事業	大字渡里字倉道485-35	6262㎡	15㎡	111005	—	なし	なし	工事実施
41	日田条里中川原地区	宅地分譲建設	大字渡里字中川原1346-1	2353㎡	20㎡	111007	—	なし	なし	工事実施
42	大内田遺跡隣接地	道路建設	大字友田字三郎丸1915-1ほか	6960㎡	25㎡	111009	—	なし	須恵器1点	工事実施
43	日田条里大原地区1次	アパート建設	大字田島字大原158ほか	1032㎡	15㎡	111019	弥生~古墳	竪穴住居2基	弥生土器・土師器・須恵器	発掘調査実施
44	日田条里上手地区4次	共同住宅建設	大字三和字向小杉18-1	1945㎡	30㎡	111021	古代~中世	水田遺構	土器	発掘調査実施
45	三和教団遺跡G地点	宅地造成	大字三和字大塚2477-2ほか	1045㎡	20㎡	111026	弥生~中世	水田遺構・水路	弥生土器・土師器・陶磁器	発掘調査実施
46	大行寺遺跡	広域農道建設	大字西有田字平等寺1168-1ほか	700㎡	16㎡	111101	古代・中世	竪穴住居あと、もしくは包含層、土坑	打製石斧、須恵器、土師器	発掘調査実施
47	日田条里上手地区5次	宅地造成工事	大字三和字当根町12-1ほか	2470㎡	20㎡	111109	古代~中世	柱穴	土器	発掘調査実施
48	大波瀬遺跡	法務局建設	大字田島二丁目4-1	60㎡	111117	111117	古墳~中世	溝・柱穴(古墳~古代)、包含層(中世)	土師器	発掘調査実施
49	日田条里丸ノ内地区	保育所改築事業	大字南豆田字丸ノ内642	1517㎡	20㎡	120106	—	なし	なし	工事実施
50	日高遺跡	農業用倉庫建設	大字日高字澁川2323	300㎡	10㎡	120117	—	なし	なし	工事実施
51	本村遺跡2次	宅地分譲工事	大字小迫字浄光院1164	1174㎡	30㎡	120118	古墳・中世	竪穴住居跡3軒、溝1条、土坑1基、柱穴	土師器、須恵器	発掘調査実施
52	会所宮遺跡	分譲地建設	大字田島字倉ヶ道729-5	947㎡	20㎡	120120	—	なし	なし	工事実施
53	日田条里大原地区2次	宅地造成工事	大字田島字柿ノ木町144-1ほか	237㎡	30㎡	120121	弥生・古墳・中世	土坑・柱穴・包含層	弥生土器・土師器・須恵器	発掘調査実施
54	柳ノ本遺跡隣接地	管理棟改築事業	大字竹田字上深410-1	600㎡	10㎡	120130	—	中世水田層	なし	盛土保存により工事実施
55	日田条里柿町地区	医院新築工事	大字渡里字柿町1150-8	1095㎡	10㎡	120205	—	なし	なし	工事実施
56	元宮遺跡隣接地	宅地造成工事	大字日高字追462-1	1641㎡	10㎡	120217	—	なし	なし	工事実施
57	大肥条里下河内地区						縄文~中世	柱穴・土坑	縄文土器・石器・土師器・輸入陶磁器	発掘調査実施
58	大肥条里東見寺地区						中世	柱穴・包含層	土師器	発掘調査実施
59	大肥条里諸筋地区						中世	柱穴	土師器・輸入陶磁器	発掘調査実施
60	大肥条里鰯地区						—	なし	なし	工事実施
61	山ノ口遺跡	用地造成工事	大字山田字山ノ口1154-1	2393㎡	60㎡	120225	—	なし	なし	工事実施
62		県営圃場整備	大字羽田	240000㎡	60㎡	120309	—	なし	なし	工事実施
63	日田条里隣接地	駐車場造成工事	大字竹田字栗ノ木689-1	1289㎡	20㎡	120312	—	なし	なし	工事実施
64		中山間地域総合整備	大字東有田		20㎡	120317	—	なし	なし	工事実施
65	元宮遺跡	造成工事	大字求来里字元宮418-1	952㎡	20㎡	120318	古代	なし	瓦、土師器	工事実施
66	高瀬条里永平寺地区	宅地分譲工事	大字高瀬字火ノ口663-1	2041㎡	60㎡	120321~120325	古墳・中世	土坑・柱穴・竪穴住居跡1軒	土師器、須恵器	発掘調査実施
67	長者原遺跡	宅地造成	大字小山字沖原195-2	995㎡	101㎡	120323~120331	古墳	竪穴式石室・石棺墓	土師器	発掘調査実施
68	大肥条里吉竹地区	県営圃場整備	大字大肥字榎町453-1ほか	41000㎡	200㎡	120324~120331	古代・中世	竪穴住居跡・柱穴・溝・中世水田層	土師器・須恵器・輸入陶磁器	発掘調査実施

※表1のグラフにおいて、公共機関の照会件数より試掘件数が多いのは1件の照会で数箇所の試掘・立会調査を実施したためである。

II 平成11年度の埋蔵文化財普及・啓発活動

1) 吹上遺跡発掘体験教室

平成11年8月5日に吹上遺跡の発掘体験教室が開催された。発掘体験教室は、吹上遺跡の調査が夏休み期間中に実施されているということもあり、日田中央ロータリークラブが青少年の健全育成活動の一環として企画・主催したものに市教委が賛同・協力し、別府大学文化財研究所の協力を得て実施したものである。市内外から募集人員を越える親子96名の参加があり、別府大学下村智先生による吹上遺跡の説明等の後、2班に分かれ、主に大溝の体験発掘と周辺での土器採集を行った。



発掘体験教室風景



発掘体験教室風景

2) 吹上遺跡第10次調査現地説明会

平成11年8月21日に日田市教育委員会・別府大学文化財研究所主催のもと、吹上遺跡の現地説明会を開催した。約50名の参加があり、10次調査で新たに発見された弥生時代後期後半の大溝、竪穴住居跡等を前にして、その詳細と吹上遺跡における環濠集落の存在の可能性及びその意義についての説明が行われた。



現地説明会風景



現地説明会風景

3) 平成10年度埋蔵文化財発掘調査速報展

平成10年度に日田市教育委員会が行った発掘調査の成果を広く市民に公開することを目的に、出土遺物の展示会を開催した。

名 称：平成10年度埋蔵文化財発掘調査速報展

主 催：日田市教育委員会

期 間：平成11年11月1日～11月30日

場 所：日田市埋蔵文化財センター

展示品：三和教田遺跡D地点のナイフ形石器・
 挟入柱状片刃石斧・打製石斧、三和教田遺跡
 E地点の磨製石斧・打製石斧、内ノ下遺跡の
 浅鉢・深鉢、平島遺跡E地点の甕棺、後迫遺
 跡の管玉・石包丁・扁平片刃石斧・大型蛤刃
 石斧、大肥条里中村遺跡の磨製石鏃・丹塗甕・
 高坏・柱状片刃石斧、尾漕遺跡の支脚、長迫
 遺跡C地点の土師器（甕・甑・高坏）・須恵器（坏身・坏蓋）・紡錘車、川原田遺跡の刀子・鉄鏃・
 白磁碗、大肥条里中村遺跡の青磁（合子・皿・碗）・湖州鏡・土師器（皿）・刀子・小刀・硯の計65点



4) 刊行物の紹介

表4 平成11年度刊行物一覧

	書 名	巻 次	体裁	総ページ数	内 容
1	小迫辻原遺跡Ⅱ	15	A 4	本文110P	遺跡範囲確認調査に伴う小迫辻原遺跡H区の発掘調査の成果、弥生時代、古墳時代前期の溝等を所収。
2	朝日ヶ丘遺跡	18	A 4	本文8P	市営朝日ヶ丘住宅改築工事に伴う朝日ヶ丘遺跡3次発掘調査の成果、縄文時代の土器等を所収。
3	本村遺跡	19	A 4	本文8P	分譲宅地造成工事に伴う埋蔵文化財発掘調査の成果、古墳時代と中世の遺構を所収。
4	山口遺跡	20	A 4	本文44P、写真図版15P	県営圃場整備事業東有田地区に伴う埋蔵文化財発掘調査の成果、古墳から近世の遺構を所収。
5	日田条里上手地区	21	A 4	本文16P、写真図版4P	宅地造成に伴う埋蔵文化財発掘調査の成果、古墳から中世の遺構を所収。
6	徳瀬遺跡第3次	22	A 4	本文14P、写真図版6P	宅地造成に伴う徳瀬遺跡3次発掘調査の成果、弥生時代後期の遺構を所収。
7	上ノ馬場遺跡	23	A 4	本文34P、写真図版10P	宅地分譲建設に伴う埋蔵文化財発掘調査の成果、古墳時代と中世の遺構を所収。
8	吹上遺跡・天満古墳	概 報	A 4	本文44P、写真図版16P	吹上遺跡の10次発掘調査の成果報告、天満古墳の3次発掘調査の成果報告。弥生時代の溝等、古墳時代の前方後円墳等を所収。
9	ありたを掘る	パンフ	A 4	本文11P	市道田島有田線改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査の成果をイラストを付けて解説。

Ⅲ 平成11年度埋蔵文化財センター受領図書一覧

書名	寄贈者	刊行年
埼玉県 遺跡調査室年報X 平成10年度	立正大学熊谷校地遺跡調査室	1999
千葉県 山武考古学研究所出版物目録	山武考古学研究所	1999
山武考古学研究所年報No.17 平成10年度	〃	1999
データベースれきはく 検索の手引き 近世窯業遺跡データベース	国立歴史民俗博物館	1998
データベースれきはく 検索の手引き 城館城下発掘データベース	〃	1999
「新弥生紀行」企画展図録 北の森から南の海へ	〃	1999
東京都 上野忍岡遺跡群 国立国会図書館支部上野図書館-国立国会図書館支部上野図書館 (国際子ども地点図書館) 増築工事に伴う事前発掘調査報告書-	台東区文化財調査会	1999
浅草寺西遺跡 常磐新幹線浅草駅建設工事に伴う緊急発掘調査報告書	〃	1999
茅町遺跡 -台東区地方合同庁舎建設工事に伴う緊急発掘調査報告書-	〃	1999
上野忍岡遺跡群 上野動物園防火貯水槽建設地点	〃	1999
神奈川県 秦野盆地の遺跡 平成9年度特別展	桜土手古墳展示館	1997
器と縄紋人 平成9年度特別展	〃	1998
秦野の原像-1平沢遺跡 平成10年度特別展	〃	1998
桜土手古墳展示館だより vol.14	〃	1997
桜土手古墳展示館だより vol.15	〃	1998
桜土手古墳展示館だより vol.16	〃	1999
桜土手古墳展示館だより vol.17	〃	1999
静岡県 長伏六反田遺跡 ヤマト運輸(株)新沼津ベース建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	三島市教育委員会	1999
初音ヶ原遺跡 都市計画道路谷田幸原初音ヶ原インターチェンジ建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	〃	1999
初音ヶ原A遺跡第2地点・初音ヶ原B遺跡第3地点	〃	1999
箱根旧街道石畳整備事業報告書	〃	1999
京都府 京都府埋蔵文化財情報 第71号	關京都府埋蔵文化財調査研究センター	1999
京都府埋蔵文化財情報 第72号	〃	1999
文化財修理報告書 Vol.1 (1999)	楽浪文化財修理所	1999
第4回加悦町文化財シンポジウム 丹後の弥生社会を斬る	加悦町教育委員会	1999
加悦町文化財調査報告第28集 白米山古墳Ⅲ・須代遺跡Ⅳ	京都府加悦町教育委員会	1999
加悦町文化財調査報告第29集 金屋遺跡-茶園地区第1次-	京都府加悦町教育委員会	1999
京都府埋蔵文化財情報 第73号	關京都府埋蔵文化財調査研究センター	1999
大阪府 大阪府立弥生文化博物館図録18 「渡来人登場-弥生文化を開いた人々-」	大阪府立弥生文化博物館	1999
弥生倶楽部 Vol.16	〃	1999
嶋上遺跡群23 高槻市文化財調査概要XXV	高槻市教育委員会	1999
古墳時代首長系譜変動パターンの比較研究	大阪大学文学部	1999
国家形成期の考古学 -大阪大学考古学研究室10周年記念論集-	〃	1999
堺市文化財調査概要報告 第77冊	堺市教育委員会	1998
東浅香山遺跡発掘調査概要報告	〃	1998
堺市文化財調査概要報告 第79冊	〃	1999
平成9年度市内遺跡立会調査概要報告	〃	1999
堺市文化財調査概要報告 第82冊-堺市長曾根土地区画整理事業に伴う発掘調査・V-	〃	1999
堺市文化財調査概要報告 第83冊	〃	1999
大野寺跡 平成10年度国庫補助事業発掘調査報告書	〃	1999
堺市長曾根遺跡を掘る2 堺市長曾根土地区画整理事業	〃	1999
堺市長曾根遺跡を掘る3 堺市長曾根土地区画整理事業	〃	1999
邪馬台国と安満宮山古墳	高槻市教育委員会	1999
兵庫県 開かれた古墳時代のタイムカプセル	加古川市教育委員会	1998
奈良県 1992年度 発掘調査報告書2 -谷遺跡第5次調査-	關桜井市文化財協会	1998
大福遺跡調査報告 大福小学校第三・四次発掘調査概報	〃	1998
平成7年度国庫補助による発掘調査報告書	桜井市教育委員会	1999
埋蔵文化財ニュース87	奈良国立文化財研究所埋蔵文化財センター	1998
埋蔵文化財ニュース88	〃	1998
埋蔵文化財ニュース89	〃	1999
埋蔵文化財ニュース90	〃	1999
埋蔵文化財ニュース91	〃	1999
鹿児島県桜島町武貝塚発掘調査報告書	奈良大学文学部考古学研究室	1999
奈良国立文化財研究所年報1999年(Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ)	奈良国立文化財研究所	1999
埋蔵文化財ニュース92 遺跡整備関連文献目録	奈良国立文化財研究所埋蔵文化財センター	1999
埋蔵文化財ニュース93 出土有機質遺物保存処理の最近の動向	〃	2000
埋蔵文化財ニュース94 遺跡復元整備事例集Ⅱ	奈良国立文化財研究所埋蔵文化財センター	2000
埋蔵文化財センター案内 2000	奈良国立文化財研究所	2000
広島県 弥生時代鉄器出土地名表(九州地方編) 平成7年度~平成10年度科学研究費補助金 (基盤研究A2) 「弥生時代鉄器の研究」(07401012)研究成果報告書	広島大学文学部 教授 川越哲志	1999

書名	寄贈者	刊行年
弥生時代総覧 東アジア出土鉄器地名表II	広島大学文学部考古学研究室	2000
山口県		
下関市立考古博物館年報4 平成10年度	下関市立考古博物館	1999
研究紀要第3号	"	1999
あやらぎ 博物館だよりNo.3	"	1999
平成9年度調査報告書	山口県埋蔵文化財センター	1998
平成10年度調査報告書	"	1999
山口県史 資料編考古1	山口県県史編さん室	2000
香川県		
平尾墳墓群	香川県綾歌町教育委員会・岡山理科大学人類学研究所	1998
愛媛県		
小野川流域の遺跡II 北梅本悪社遺跡	松山市教育委員会 埋蔵文化財センター	1998
松山大学構内遺跡III 第4・5次調査	"	1998
瀬戸風峠遺跡	"	1998
船ヶ谷遺跡 - 2次調査 -	"	1999
乃万の裏遺跡 - 2次調査地 -	"	1999
船ヶ谷遺跡 - 3次調査地 -	"	1999
松山市埋蔵文化財年報II 平成10年度	"	1999
平成10年度特別展 魂のゆくえ ～検証、古代瀬戸内の精神文化～	松山市考古館	1998
福岡県		
頓田高見遺跡II	甘木市教育委員会	1997
下瀬名子古墳群	"	1998
下浦宮原遺跡I	"	1998
頓田高見遺跡II	"	1998
頓田高見遺跡III・栗山遺跡IV 付編平塚三反畑出土甕棺について	"	1998
屋永西原遺跡II	"	1998
甘木ミノケ遺跡	"	1999
堤連町遺跡	"	1999
寺福童内畑下道東遺跡	小都市教育委員会	1998
井上東山ノ後遺跡・上岩田天神木遺跡	"	1998
井上廃寺I	"	1998
大崎中ノ前遺跡2	"	1998
勝負坂遺跡M地点	"	1998
三沢権藤2遺跡	"	1998
力武前畑遺跡	"	1998
大板井遺跡XII	"	1998
小郡官衙周辺遺跡1	"	1998
小板井ぐうてさん遺跡	"	1998
大板井遺跡XIII	"	1998
経塚横穴墓群・古墳群	田川市教育委員会	1999
前田遺跡群I	那珂川町教育委員会	1998
前田遺跡群II	"	1999
仲遺跡群III	"	1999
荻ノ原遺跡群・古屋敷遺跡群	"	1999
平成11年度伊都歴史資料館春季企画展 最近話題の遺跡と遺物	前原市伊都歴史資料館	1999
前原市まちづくり講演会 伊都国と卑弥呼の時代「伊都国発歴史の謎解き」	前原市教育委員会	1999
御輪地遺跡・杵遺跡箱式石棺	水巻町教育委員会	1999
福岡割畑遺跡	福岡町教育委員会	1999
手光古墳群II 手光北6号墳	"	1999
前田遺跡	大川市教育委員会	1999
龍王遺跡	"	1999
北大鏡遺跡	大川市教育委員会	1999
筑後国府跡 第152次調査	久留米市教育委員会	1998
筑後国府跡 第155次調査	"	1998
二本木遺跡 第14・15次調査	"	1998
一の左右遺跡・荒木意味宮脇遺跡	"	1998
上津・藤光遺跡群II	"	1998
野中前遺跡 第2次調査	"	1998
白口経塚遺跡 第4・5・6次調査	"	1998
山川南本村遺跡 第1～4次調査	"	1999
筑後国府跡・国分寺跡	"	1999
平成10年度 久留米市内遺跡群 柳原侍屋敷遺跡・大園遺跡・高良山食堂跡・持田古墳群・東野亭焼窯跡・念仏塚古墳	"	1999
へぼノ木遺跡 平成10年度調査概要	久留米市教育委員会	1999
筑後国府跡 第159次調査報告	"	1999
上津・藤光遺跡群パンフレット	"	1998
練原遺跡	津屋崎町教育委員会	1999
惣津町遺跡	八女市教育委員会	1999
万上田遺跡(2次・3次調査)	八女市教育委員会	1999
八女東部地区埋蔵文化財発掘調査概報5 八女市大字黒土・忠見・井延・宅間田・吉田所在遺跡の調査概報	"	1999
埋蔵文化財調査概報I 県営かんがい排水事業筑後東部第3期地区 八女市大字忠見所在遺跡の調査概報	"	1999
岡田地区遺跡を掘る 古代官道と岡田の関	ふるさと館ちくしの	1999

書名	寄贈者	刊行年
今市向野遺跡C地点	豊前市教育委員会	1997
今市向野遺跡A・B地点	"	1998
青畑向原遺跡・永久遺跡	"	1999
大野城市の文化財 第31集	大野城市教育委員会	1999
中・寺尾遺跡Ⅲ	"	1999
森園遺跡Ⅱ	"	1999
石勺遺跡Ⅳ - J地点の調査-	"	1999
史跡 御所ヶ谷神籠石	行橋市教育委員会	1998
九州横断自動車道関係埋蔵文化財調査報告-53- 朝倉郡朝倉町大字菱野所在原の東遺跡の調査Ⅱ	福岡県教育委員会	1999
九州横断自動車道関係埋蔵文化財調査報告-54- 上下巻 朝倉郡朝倉町所在 金場遺跡	"	1999
九州横断自動車道関係埋蔵文化財調査報告-55- 朝倉郡朝倉町所在 長島遺跡の調査Ⅱ	"	1999
九州横断自動車道関係埋蔵文化財調査報告-56- 朝倉郡杷木町所在 畑田遺跡の調査	"	1999
以来尺遺跡Ⅲ 上下巻 一般国道3号線筑紫野バイパス関係埋蔵文化財調査報告 第7集	"	1999
鷹取五反田遺跡Ⅱ 上下巻 一般国道210号浮羽バイパス関係埋蔵文化財調査報告 第10集	"	1999
堀池口ヶ坪遺跡 一般国道201号飯塚バイパス関係埋蔵文化財調査報告 第1集	"	1999
船越二ノ上遺跡 一般国道210号浮羽バイパス関係埋蔵文化財調査報告 第11集	"	1999
百留居屋敷遺跡 一級河川山国川築堤関係埋蔵文化財調査報告3	"	1999
上唐原了清遺跡Ⅰ 一級河川山国川築堤関係埋蔵文化財調査報告4	"	1999
貝元遺跡Ⅱ 上下巻	"	1999
福岡県埋蔵文化財発掘調査年報 一平成8年度-	"	1999
曲り田周辺遺跡Ⅰ	二丈町教育委員会	1991
曲り田周辺遺跡Ⅱ	"	1993
曲り田周辺遺跡Ⅳ	"	1994
木舟・三本松遺跡 深江地区ほ場整備事業関係埋蔵文化財発掘調査報告Ⅰ	"	1994
大坪遺跡Ⅰ	"	1995
大坪遺跡Ⅱ	"	1995
木舟の森遺跡 深江地区圃場整備事業関係埋蔵文化財発掘調査報告Ⅱ	"	1995
曲り田周辺遺跡Ⅴ	"	1996
木舟・三本松遺跡Ⅱ 深江地区ほ場整備事業関係埋蔵文化財発掘調査報告Ⅲ	"	1996
木舟・三本松遺跡Ⅲ	"	1997
矢風遺跡 第2次調査	"	1997
荻の原古墳群Ⅱ	"	1997
早田遺跡 平成3年 台風19号災害に伴う埋蔵文化財発掘調査	"	1997
上深江・小西遺跡Ⅰ 深江地区ほ場整備事業関係埋蔵文化財発掘調査報告Ⅴ	"	1998
曲り田周辺遺跡Ⅵ	"	1998
深江・中道遺跡 深江地区ほ場整備事業関係埋蔵文化財発掘調査報告Ⅵ	"	1999
二丈中学校校舎内遺跡Ⅰ 二丈中学校校舎増築に伴う埋蔵文化財調査Ⅰ	"	1999
大木遺跡 夜須地区遺跡群ⅩⅩ	夜須町教育委員会	1997
鬼神山遺跡 夜須地区遺跡群ⅩⅩⅣ	"	1998
塔ノ本遺跡 夜須地区遺跡群ⅩⅩⅤ	"	1999
行司田遺跡 夜須地区遺跡群ⅩⅩⅥ	"	1999
宮ノ上遺跡 夜須地区遺跡群ⅩⅩⅦ	夜須町教育委員会	1999
垂水廃寺Ⅱ・宇野地区遺跡群Ⅰ	新吉富村教育委員会	1999
上穂波地区遺跡群3 前遺跡	築穂町教育委員会	1999
黒丸丸尾城跡	若宮町教育委員会	1999
片伊田遺跡4(Ⅰ・Ⅱ・Ⅳ・Ⅶ・Ⅷ区の調査)-徳力・葛原線道路新設改良工事に伴う埋蔵文化財の発掘調査報告8	熊本県教育文化事業課埋蔵文化財調査室	1999
片伊田遺跡5(Ⅷ区の調査)-徳力・葛原線道路新設改良工事に伴う埋蔵文化財の発掘調査報告10	"	1999
永犬丸遺跡群3(松本遺跡・中伏遺跡・永犬丸遺跡)	"	1999
光照寺遺跡Ⅰ	"	1999
埋蔵文化財調査室年報15 平成9年度	"	1999
研究紀要 第13号 (埋蔵文化財調査室開設20周年記念特別号)	"	1999
王塚裝飾古墳館 年報4 《平成10年度》	王塚裝飾古墳館	1999
八景山山麓古墳群	豊津町教育委員会	1999
怡土城とその時代	伊都歴史資料館	1999
那珂君林遺跡Ⅶ 那珂君林遺跡7・8次発掘調査報告書	福岡市教育委員会	1999
下和白後口古墳群	"	1999
蒲田部木原遺跡群6 蒲田部木原遺跡群第6次調査報告	"	1999
堅粕3 堅粕遺跡群第8次調査の概要	"	1999
箱崎7 箱崎遺跡群第8次調査の報告	"	1999
箱崎8 箱崎遺跡群第11次・13次調査報告	"	1999
博多66 博多遺跡群第9次聖福寺日塔頭順心庵 第106次発掘調査報告	"	1999
博多67 博多遺跡群第10次調査報告	"	1999
比恵27 比恵遺跡群第62次、第63、第65次発掘調査報告	"	1999
比恵遺跡群28 比恵遺跡群13次・15次・21次調査	"	1999
那珂22 那珂遺跡群第62次・第63次・第65次発掘調査報告	"	1999
那珂23 那珂遺跡群第9・57次調査報告	"	1999
大井遺跡 大井遺跡群Ⅰ次発掘調査	"	1999
吉武遺跡群 飯盛・吉武圃場整備事業関係調査報告書5	"	1999
飯付周辺遺跡調査報告書20集	"	1999
南八幡遺跡群 第8次調査	"	1999
野多目遺跡5 野多目A遺跡群第6次調査報告	"	1999
弥永原遺跡4 第5次調査	"	1999

書名	寄贈者	刊行年
博多68 下川端東地区市街地再開発事業に伴う博多遺跡群第96次調査の概要	福岡市教育委員会	1999
藤崎13	"	1999
藤崎遺跡14 藤崎遺跡第28・29次調査	"	1999
有田・小田部 32 有田遺跡群第188次調査報告	"	1999
福岡外環状道路関係埋蔵文化財調査報告6 早良区野芥所在野芥遺跡群5調査	"	1999
井相田D遺跡 第2次調査	"	1999
田村14 田村遺跡群第20次調査	"	1999
拾六町亀田1・次郎丸高石4・田村13	"	1999
拾六町亀田遺跡第1次調査及び次郎丸高石遺跡第4次調査、田村遺跡第18次調査報告	"	1999
入部IX 東入部遺跡群第1次調査報告(2) 第2次調査報告(1)	"	1999
室見が丘 金武・西入部地区開発に伴う埋蔵文化財の調査	"	1999
飯氏古墳群B群第14号墳調査報告書(2) 福岡市西区飯氏所在前方後円墳の第2次調査の報告	"	1999
橋本一丁田遺跡・女原遺跡 橋本一丁田遺跡群第3次調査 女原遺跡群第5次調査	"	1999
広石南古墳群A群	"	1999
峯遺跡2 ほ場整備事業に伴う峯遺跡2調査報告	"	1999
大坪遺跡・大坪南遺跡	"	1999
鴻臚館跡10 平成10年度発掘調査概要報告	"	1999
福岡市埋蔵文化財年報Vol.12 平成9(1997)年度	"	1999
西水町遺跡	大川市教育委員会	2000
田久瓜ヶ坂	宗像市教育委員会	2000
田久松ヶ浦	"	2000
倉瀬戸古墳群II A10・11号墳の調査	福岡大学人文学部考古学研究室	2000
福岡市埋蔵文化財センター年報第18号 平成10(1998)年度	福岡市教育委員会	2000
下高橋(上野・馬屋元)遺跡IV	大刀洗町教育委員会	1999
富多若草遺跡-I・II・III	"	1999
大板井遺跡 九州大学文学部考古学研究室編	小郡市史編集委員会	1995
宇野地区遺跡群II	新吉富村教育委員会	2000
佐賀県		
李祥古場窯跡・土井木原窯跡	武雄市教育委員会	1999
本源寺窯跡調査概報 町内古陶磁窯跡発掘調査3	塩田町教育委員会	1999
上和泉遺跡11区 13区	佐賀市教育委員会	1999
東淵遺跡1区	佐賀市教育委員会	1999
江頭遺跡-9区の調査- 森田遺跡-1区の調査-	"	1999
ウー屋敷遺跡	"	1999
牟田寄遺跡VII-10~14区の調査-	"	1999
長瀬一本杉遺跡・高木遺跡	"	1999
江頭遺跡-1~8区の調査-	"	1999
坪の上遺跡II-佐賀導水事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書2-	"	1999
徳永遺跡9区-佐賀市久保泉工業団地関係埋蔵文化財発掘	"	1999
上和泉遺跡6-佐賀市久保泉工業団地関係埋蔵文化財発掘	"	1999
平林遺跡1区(株)ミスターマックス店舗建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書-	佐賀県三養基郡北茂安町	1999
八藤遺跡I 平成3~5年度佐賀県営農業基盤整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	上峰町教育委員会	1999
八藤遺跡II 平成2年度佐賀県営農業基盤整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	"	1998
坊所二本松遺跡 共同住宅建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	"	1998
八藤遺跡III 平成3~5年度佐賀県営農業基盤整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	"	1999
織島東分遺跡群II 西佐賀水道企業団三日月配水池建設に伴う織島東分古墳群D-1号墳の調査報告書	三日月町教育委員会	1999
的小淵遺跡 神埼郡神埼町大字の所在する的小淵遺跡3区~11区の調査の記録	神埼町教育委員会	1998
本告牟田遺跡O・1区 佐賀県神埼郡神埼町大字本告牟田所在遺跡の発掘調査報告書	"	1998
姉川城跡 7次の発掘調査報告書	"	1998
利田柳遺跡 VII区の発掘調査概要報告書	"	1998
尾崎土生遺跡 佐賀県神埼郡神埼町大字尾崎所在尾崎土生遺跡1区~VI区の発掘調査報告書	"	1999
長崎県		
窟の原遺跡・大村館藪地・下荒瀬山下墓地	大村市教育委員会	1998
坂口館跡 ~歴史公園整備事業に伴う発掘調査~	"	1998
窟の原遺跡 ~(株)多賀冷凍機製作所工場建設に伴う発掘調査~	"	1998
帯取遺跡 ~ふるさと農道緊急整備事業に伴う発掘調査~	大村市文化財保護協会	1998
熊本県		
Iナガラ原東貝塚 II西原F遺跡3 III肥後における古墳の調査3 考古学研究室報告第34集	熊本大学文学部考古学研究室	1999
熊本大学埋蔵文化財調査室年報5 1998年度	熊本大学埋蔵文化財調査室	1999
植木町遺跡地図-町内遺跡詳細分布調査-	植木町教育委員会	1999
池辺寺跡II 平成8・9年度発掘調査報告書	熊本市教育委員会	1999
熊本市埋蔵文化財調査年報第2号 平成4年度~平成8年度	"	1999
熊本市埋蔵文化財発掘調査報告書 平成10年度-	"	1999
迫ノ上遺跡 一般国道3号熊本北バイパス改築に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	"	1999
古閑山遺跡 一般国道3号熊本北バイパス改築に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	"	1999
蔵城遺跡 錦町迫地区急傾斜地崩壊対策事業に伴う埋蔵文化財調査	"	1999
頭地松本B遺跡(2) 建設省川辺川ダム建設事業に伴う埋蔵文化財の調査	"	1999
二本松遺跡群 整備新幹線駅整備調整事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	"	1999
古閑北・梨本遺跡 益城熊本空港インターチェンジ建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	"	1999
立石遺跡・大鶴A遺跡・上場遺跡・前畑遺跡 担い手育成基盤整備事業に伴う文化財調査	"	1999
石の本遺跡群I 第54回国民体育大会秋季主会場整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	"	1999
石の本遺跡群II 第54回国民体育大会秋季主会場整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	"	1999

書名	寄贈者	刊行年
耳切遺跡 小国地熱発電所計画に伴う埋蔵文化財調査報告書	熊本市教育委員会	1999
鞠智城跡 第20次調査報告	"	1999
古閑北遺跡 産業展示場建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	"	1999
文化財通信くまもと 第16・17号	"	1999
中国・四国地方の装飾古墳 平成11年度後期企画展 全国の装飾古墳シリーズ	熊本県立装飾古墳館	1999
大分県		
おおいたの石橋 第9号	大分の石橋を研究する会	1999
鬼籠当中石塔群 団体営農道鬼籠地区に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	国見町教育委員会	1999
陣ヶ台遺跡 玖珠町上水道第2次拡張事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書9	玖珠町教育委員会	1999
ヒヨウ遺跡 県営圃場整備事業朝日地区に伴う埋蔵文化財発掘	大田村教育委員会	1999
福島遺跡(IV) 東入垣地区 定留遺跡 八反ガソウ地区 1998年度中津地区遺跡群発掘調査概報(XI)	中津市教育委員会	1999
緒方町の文化財	緒方町教育委員会	1998
三重地区遺跡群発掘調査概報Ⅲ 久知良遺跡・中島地区・妙照院跡・中小坂遺跡・市場遺跡・垣内遺跡・十六山横穴墓群・三重原遺跡	三重町教育委員会	1999
牟礼越遺跡 三重地区遺跡群発掘調査報告書	"	1999
板切遺跡群(第1～V)・小原田遺跡 県営担い手育成圃場整備事業都野西部地区に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	久住町教育委員会	1999
埋蔵文化財発掘調査概要報告書 上山田横穴墓・観音山横穴墓・観音山板碑	宇佐市教育委員会	1996
宇佐地区遺跡群発掘調査概要XI 弥勒寺跡2次調査・法鏡寺遺跡4次調査・瓦塚遺跡6次調査・別府遺跡13次調査・小部遺跡15次調査・川部遺跡3次調査	"	1999
宇佐市文化財一覧	"	1998
豊後高田地区遺跡群発掘調査概報Ⅷ スキサキ遺跡・ソノ田A遺跡・小樋遺跡・イセダ遺跡・寺田今藤遺跡・割掛遺跡	豊後高田市教育委員会	1992
大原鬼塚古墳	"	1993
豊後高田地区遺跡群発掘調査概報Ⅸ 内野遺跡・割掛遺跡	"	1993
寺田今藤遺跡 小田原地区遺跡群発掘調査報告書(1)	"	1994
豊後高田地区遺跡群発掘調査概報Ⅹ 雲林遺跡・カワラガマ遺跡	"	1994
寺田卯月遺跡 小田原地区遺跡群発掘調査報告書(2)	"	1995
豊後高田地区遺跡群発掘調査概報Ⅺ カワラガマ遺跡・茶園遺跡・クギ遺跡・五反田遺跡・松本遺跡・トシノ神遺跡・上殿遺跡	"	1995
豊後高田地区遺跡群発掘調査概報Ⅻ 松本遺跡・上殿遺跡B地区・トシノ神遺跡	"	1996
豊後高田地区遺跡群発掘調査概報Ⅼ 西田古墳・上野古墳・西田遺跡・口田遺跡・西村遺跡・長貫遺跡・高山田遺跡・貝元遺跡	"	1997
豊後高田地区遺跡群発掘調査概報ⅭⅣ 柳ヶ谷遺跡・戸原台遺跡・限り迫遺跡・戸原遺跡・島巡り遺跡・官田遺跡・桜山遺跡・園田遺跡・宮ノ谷・大内ヶ迫遺跡・田中遺跡・相原政所跡遺跡・川原田遺跡・麦田ノ上遺跡・鈴ヶ森遺跡・小畑遺跡・長野遺跡・古其遺跡・上屋敷遺跡・口門田遺跡	"	1998
豊後高田地区遺跡群発掘調査概報ⅭⅤ 坂本遺跡・屋敷田遺跡・糸永遺跡・道ノ下遺跡・落寺田遺跡	"	1999
割掛遺跡 来繩地区遺跡発掘調査報告書	"	1999
岡藩銭座跡発掘調査報告書	竹田市教育委員会	1992
岡藩城下町遺跡跡群(茶屋ノ辻近世墓地群) 竹田地区南部遺跡群V	"	1994
平成7年度 史跡岡城跡保存修理事業報告書 史跡 岡城跡XI	"	1996
竹田地区南部遺跡群Ⅶ 史跡岡城跡周辺遺跡群II	"	1996
四山社製糸工場跡発掘調査報告書	"	1995
戸上遺跡・穴井迫第2遺跡 一般国道57号(竹田拡幅)埋蔵文化財発掘調査概報Ⅲ	"	1996
穴井迫第2遺跡・穴井迫第3遺跡 一般国道57号(竹田拡幅)埋蔵文化財発掘調査概報Ⅳ	"	1997
城下町遺跡・立花屋敷	"	1997
竹田地区遺跡群 平田地区(横舞遺跡・下村遺跡) 城下町遺跡群II(立花屋敷)	"	1997
平成8年度 史跡岡城跡保存修理事業報告書 史跡 岡城跡Ⅻ	"	1997
竹田地区遺跡群(南光寺遺跡) 史跡岡城跡周辺遺跡群Ⅲ(片ヶ瀬遺跡・狭田武家屋敷跡)	"	1998
中川午之助屋敷群 稲荷谷近世墓地群 一般国道502号線改良工事埋蔵文化財発掘調査概報Ⅲ	"	1998
中川午之助屋敷群・野殿家屋敷跡 市道岡城線道路改良工事埋蔵文化財発掘調査概報	"	1998
平成9年度 史跡岡城跡保存修理事業報告書 史跡 岡城跡ⅬⅢ	"	1998
平成9年度 史跡岡城跡管路埋設事業報告書 史跡岡城跡	"	1998
平成10年度 史跡岡城跡保存修理事業報告書 史跡 岡城跡ⅬⅣ	"	1999
一般国道57号竹田拡幅埋蔵文化財発掘調査報告書	"	1999
城南遺跡 大分市大字永興所所在遺跡の発掘調査報告書	"	1993
羽田遺跡 大分市営羽田住宅建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	"	1993
羽田遺跡II 大分市営羽田住宅建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書(2)	"	1995
県指定史跡 亀塚古墳 保存整備事業 第1次発掘調査概報	大分市教育委員会	1994
亀塚古墳 保存整備事業 第2次発掘調査概報	"	1995
曲遺跡 九州横断道路関係埋蔵文化財発掘調査報告書	"	1996
猪野遺跡 マンション建設に伴う発掘調査報告書	"	1994
大分市の文化財 ー大分市域の縄文土器資料集成1ー 第30集	"	1996
木ノ上地区重要遺跡確認調査報告書 木ノ上峠横穴墓群・山伏古墳群・浅草神社古墳群	"	1996
大分市埋蔵文化財調査年報4 平成4年度	"	1993
大分市埋蔵文化財調査年報5 平成5年度	"	1994
大分市埋蔵文化財調査年報vol.6 1994年度	"	1995
大分市埋蔵文化財調査年報vol.7 1995年度	"	1996
大分市埋蔵文化財調査年報vol.8 1996年度	"	1997
大分市埋蔵文化財調査年報vol.9 1997年度	"	1998
国指定史跡 大分元町石仏 保存修理事業に伴う発掘調査概要報告書	"	1995
東田室遺跡 大分市田室町所在遺跡の発掘調査報告書	"	1999
豊後国分寺跡 平成10年度確認調査概要報告書	"	1999

書名	寄贈者	刊行年
堂ノ間遺跡 主要地方道三重弥生線(因尾工区)道路改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	大分県教育委員会	1998
龍頭遺跡 県道山香・院内線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	〃	1999
スポーツ公園内遺跡群発掘調査報告書 スポーツ公園建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	〃	1999
古国府遺跡群 国道210号羽屋工区道路改良工事に伴う発掘調査報告書	〃	1999
小迫辻原遺跡Ⅰ A・B・C・D区編 九州横断自動車道関係埋蔵文化財発掘調査報告書10	〃	1999
荏隈杉下遺跡 九州横断自動車道関係埋蔵文化財発掘調査報告書(11)	〃	1999
玉沢地区糸里跡遺跡群 九州横断自動車道関係埋蔵文化財発掘調査報告書(12)	〃	1999
馬姓遺跡・北ノ後遺跡・乙院屋敷遺跡 九州横断自動車道関係埋蔵文化財発掘調査報告書(13)	〃	1999
夕田遺跡群 九州横断自動車道関係埋蔵文化財発掘調査報告書(14)	〃	1999
大分県埋蔵文化財年報7 平成9(1997)年度版	〃	1999
大分県内遺跡発掘調査概報7	〃	1999
瀧ノ原遺跡 一般国道210号道路改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	〃	1999
ナシカ谷遺跡 大分県北部中核工業団地造成に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	〃	1999
中尾近世墓地区 国道10号線Jの原交差点拡幅に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	〃	1999
府内城下町遺跡 国道197号線高砂歩道橋建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	〃	1999
原遺跡七郎丸1地区・口寺田遺跡 県営圃場整備国東川南区関係発掘調査報告書	国東町教育委員会	1999
豊後國香々地荘の調査 本編(付図付)	大分県立歴史博物館	1999
六郷山寺院遺構確認調査報告書Ⅶ 吉祥寺・貴福寺・真覚寺・瑞瑠光寺・妙覚寺・多福院光明寺・間戸寺・寶壽坊	〃	1999
大迫岩ノ下遺跡	大分県千歳村教育委員会	1999
五郎丸遺跡 千歳地区遺跡群発掘調査概報Ⅳ	〃	1999
原田第2遺跡原地区 千歳地区遺跡群発掘調査概報Ⅴ	〃	1999
大分のヒトと自然の交流史 別府大学歴史文化総合研究センター開設記念展	別府大学	1999
宮崎県		
スクノ山第2遺跡(D地区) 県営ふるさと農道緊急整備事業鹿村野地区に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	田野町教育委員会	1999
前ノ原第2遺跡・スクノ山第2遺跡E地区 県営畑地帯総合整備事業(緊急整備型)鹿村野地区に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	〃	1999
畑田遺跡 県営農地保全整備事業元野地区に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	〃	1999
本野遺跡(縄文時代遺物編) 平成4年度県営農地保全整備事業元野地区に伴う元野地区遺跡発掘調査報告書	〃	1999
脇穴遺跡 県営担い手育成基盤整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	都城市教育委員会	1999
宮崎県中近世城館跡緊急分布調査報告書Ⅱ 詳説編	宮崎県教育委員会	1999
特別史跡 西都原古墳群 発掘調査・保存整備概要報告書(Ⅳ)	〃	1999
国衙跡保存整備基礎調査概要報告書Ⅲ 寺崎遺跡第7次調査	〃	1999
男狭穂塚女狭穂塚参考地測量報告書	〃	1999
船引地区遺跡・大野原遺跡・五か村遺跡・浜川原遺跡・横市地区遺跡 平成10年度農業基盤整備事業に伴う発掘調査概要報告書	〃	1999
町内遺跡詳細分布調査報告書	高城町教育委員会	1998
上別府遺跡・下野遺跡 平成10年度葉タバコ反転客土事業に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告書	〃	1999
宮の原第2遺跡(第2・3次調査) 今狩平横穴墓群第2号横穴墓	高千穂町教育委員会	1999
平成9年度 日南市内遺跡発掘調査概報	日南市教育委員会	1998
平成9年度 大園遺跡 農村資源活用農業構造改善事業日南市都市農村交流センター建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	〃	1998
平成10年度 日南市内遺跡発掘調査概報	〃	1999
平成10年度 1、堂之元遺跡 2、川辺ヶ野遺跡 3、上鶴遺跡 4、木落遺跡 九州電力株式会社宮崎支店66kv低圧～福島線送電線新設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	延岡市教育委員会	1999
宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書第20集 平成10年度東九州自動車道関係埋蔵文化財発掘調査概要報告書Ⅲ(西部～清武)	宮崎県埋蔵文化財センター	1999
宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書第19集 牧の原第2遺跡	〃	1999
宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書第13集 上の原第3遺跡	宮崎県埋蔵文化財センター	1999
宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書第14集 内屋敷遺跡	〃	1999
宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書第16集 鶴野内中水流遺跡	〃	1999
宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書第18集 上牧第2遺跡・母智丘原第2遺跡	〃	1999
浜川原遺跡 長江浦地区県営圃場整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告書	宮崎県えびの市教育委員会	2000
昌明寺遺跡 県営担い手育成基盤整備事業昌明寺地区圃場整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告Ⅲ	〃	2000
佐牛野遺跡 県営一般農道整備事業 椎の本平地区に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告	〃	2000
沖縄県		
第34回全国史跡整備市町村協議会 大会資料	沖縄県浦添市教育委員会	1999
第34回全国史跡整備市町村協議会大会 エクスカーション資料	〃	1999
史跡の買上げと整備・活用	全国史跡整備市町村協議会	1999
平成11年度埋蔵文化財センター受領図書一覧(歴史)		
千葉県		
企画展「よみがえる漢王朝」	国立歴史民俗博物館	1999
データベースれきはく 検索の手引き 近世窯業遺跡データベース	〃	1999
近世窯業関係主要文献目録データベース	国立歴史民俗博物館	1999
国立歴史民俗博物館研究報告 第80集	〃	1999
国立歴史民俗博物館研究報告 第82集	〃	1999
死・葬送 墓制資料集成 東日本編1 国立歴史民俗博物館資料調査報告書9	〃	1999
死・葬送 墓制資料集成 東日本編2 国立歴史民俗博物館資料調査報告書9	〃	1999
東京都		
史料館報 第70号	史料館	1999
神奈川県		
秦野の文化財 第31集	秦野市教育委員会	1995

書名	寄贈者	刊行年
秦野の文化財 第32集	秦野市教育委員会	1996
長野県		
飯島陣屋だより No.9	飯島町歴史民俗資料館	1999
石川県		
でか山車輪修理事業報告書 国指定重要無形民俗文化財 青柏祭の曳山行事	でか山車輪修理保存調査委員会 七尾市教育委員会	1999
岐阜県		
資料館だより 第17号	各務原市民俗資料館	1999
静岡県		
文化財年報 第10号	三原市教育委員会	1999
京都府		
文化財学科ニューズレターNo.2	京都橋女子大学文学部文化財学科	1999
TachibanaBeing vol.15	"	1999
加悦町歴史文化シリーズ第3集 丹後の古代中世近世社会を探るⅢ	京都府加悦町教育委員会	1999
大阪府		
高槻市文化財年報 平成9年度	高槻市教育委員会	1999
広島県		
宮島の歴史と民俗 No.15	宮島町立宮島歴史民俗資料館	1999
山口県		
田万川町史 附・田万川町史関係年表・諸家系図・絵図	田万川町	1999
平成11年度企画展 弥生の装い-アクセサリーとその呪術性-	下関市立考古博物館	1999
福岡県		
甘木市歴史資料館報 第1集	甘木市歴史資料館	1999
文明のクロスロード 第62号	博物館等建設推進九州会議	1999
伊都国を歩こう (小・中学生版)	前原市教育委員会	1999
ふるさと館ちくしの閉館記念特別展 武蔵寺と二日市温泉	筑紫野市教育委員会	1998
筑紫野市歴史博物館 ふるさと館ちくしの	ふるさと館ちくしの	1998
甘木歴史資料館だより 温故第29号	甘木歴史資料館	1999
佐賀県		
藤田家文書 目録	玄海町教育委員会	1998
峯家文書 目録	玄海町教育委員会	1999
大分県		
宇佐風土記の丘歴史民俗資料館年報1997	大分県立宇佐風土記の丘歴史民俗資料館	1998
大分県立歴史博物館年報1998	大分県立歴史博物館	1999
おおいた歴博 No.3	"	1999
博物館だより No.42	別府大学附属博物館	1999
大分市歴史資料館ニュース No.44	大分市歴史資料館	1998
大分市歴史資料館ニュース No.45	大分市歴史資料館	1999
大分市歴史資料館ニュース No.46	大分市歴史資料館	1999
竹田歴史の道散策 フェスタ'99竹田秋の陣	J R九州	1999
おおいた歴博 No.4	大分県立歴史博物館	1999
湯浴み ~湯の歴史と文化~	"	1999
史料館研究紀要 第4号	大分県立先哲史料館	1999
宮崎県		
安井息軒 その学問の真髓と生涯	清武町・清武町教育委員会	1999
個人		
最新発掘事情	狭川真一	1998
古代青銅の流通と製造	鶴山堂	1999
「国造」の研究 大和王権と地域首長との関係を中心に	河野泰彦	1997
平成11年度埋蔵文化財センター受領図書一覧 (その他)		
宮城県		
白い國の詩 6月号	(株)創童社	1999
白い國の詩 1月号	"	2000
白い國の詩 2月号	"	2000
栃木県		
全史協会報 平成10年度全国史跡整備市町村協議会	全国史跡整備市町村協議会事務局	1999
千葉県		
研究所案内	山武考古学研究所	1996
業務経歴	"	1996
長野県		
上田市誌文化財編 上田市の文化財	上田市・上田市誌刊行会	1999
京都府		
古裂會 第12回公開入札オークション	(有)こぎれかい	1999
思文閣古書資料目録 第163号 善本特集 第11輯	(株)思文閣出版	1999
福岡県		
「季刊」筑後川 NPO筑後川流域連携倶楽部		1999
佐賀県		
佐賀県立名護城博物館(総合案内)	佐賀県立名護城博物館	1999
熊本県		
要覧 平成11年度(第8号)	熊本県立装飾古墳館	1999
東京都		
季刊 古都 第24号	(財)古都保存財団	1999
ムセイゾン45号 立教大学博物館研究	立教大学学校社会教育講座	1999

平成11年度(1999年度)
日田市埋蔵文化財年報

発行日 平成13年3月30日

編集 日田市教育委員会

発行 〒877-8601

大分県日田市田島2-6-1

TEL 0973-23-3111

印刷 尾花印刷有限公司